仕様

形　式	VT-S 650
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン S-VHS 方式(NTSC準拠)
録画再生時間	3倍モード　8時間(T-160　使用時)(VHSモード) 6時間(ST-120使用時)(S-VHSモード) 標準モード　2時間40分(T-160 使用時)(VHSモード) 2時間(ST-120 使用時)(S-VHSモード)
テープ速度	3倍モード　11.1mm/秒, 標準モード　33.4mm/秒
テープ幅	12.7mm
使用カセット	S-VHS または VHS タイプビデオカセット
ヘッド数	7(4：映像用　2：Hi-Fi音声用　1：フライングイレース用)
VHF出力	1, 2チャンネル切換え可能
映像入力	S端子：輝度信号1.0Vp-p, 75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p, 75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p, 75Ω不平衡
映像出力	S端子：輝度信号1.0Vp-p, 75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p, 75Ω不平衡 映像端子：1.0Vp-p, 75Ω不平衡
音声入力	ライン：−7.8dBs(316mVrms), ハイインピーダンス
音声出力	ライン：−7.8dBs(316mVrms), ローインピーダンス ヘッドホン：適合インピーダンス8Ω〜2KΩ
音声トラック	3トラック (Hi-Fi VHS音声2トラック：ステレオ録音/ステレオ再生) (ノーマル音声　1トラック：モノラル録音/モノラル再生)
Hi-Fi　VHS音声特性	ダイナミックレンジ：90dB以上　周波数特性：20Hz〜20KHz ワウ・フラッター　：0.005%
早送り・巻戻し時間	約3分(T-120使用時) ●高速巻戻し時：約2分
許容動作温度	5℃〜40℃
許容相対湿度	80%以下
電源	AC100V, 50/60Hz共用
消費電力	約28W(タイマーのみ動作時約8W)
外形寸法	(幅)43.5×(高さ)10.3×(奥行)38.1cm
重量	本体7.3kg
付属品	ワイヤレスリモコン……1個 (VT-RMP14) アンテナアダプター……1個 同軸ケーブル……1本 Sコード……1本 分波器……1個 混合器……1個 映像・音声コード……1本 単3乾電池……2個 電源コード……1本

●本機の仕様及び外観は，改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

MEMO

購入店名　　後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときにお役に立ちます。

電話（　　-　　）　購入年月日：　年　月　日

ご使用方法のご相談は，お買い求めの販売店が承っておりますが，販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は，下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコーくらしのダイヤル――家電品のお買物相談は…
0120-312111
(フリーダイヤル・無料　年中無休9〜20時　東京で受信)

日立家電販売株式会社　　株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)502-2111

取扱説明書

日立ビデオデッキ

VT-S650形

このたびは，日立ビデオデッキをお求めいただき，まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。
なお，お読みになった後は，保証書，ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には，製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

このビデオは S-VHS 方式のビデオです。
S-VHS および VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。

このマークのついたビデオは，VHS 高画質技術が採用されています。
なお，従来方式のビデオとは互換性があります。

目　次

特長

S-VHS方式	スーパーアモルファスヘッド	おそうじヘッド（オートヘッドクリーニング）	テープリフレッシャー
●水平解像度を大幅に向上。質感さえも忠実に再現。	●よりよい画質で録画できるよう標準，3倍モード用にそれぞれ新開発アモルファスヘッドを採用。	●ビデオヘッドを清掃し汚れを防止します。	●録画を何回も繰返したテープの消し残り部分などを解消します。

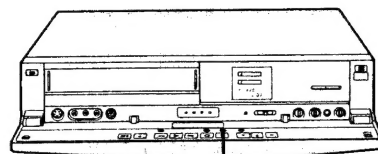
オートヘッドクリーニング機能について

次の操作をすると，オートヘッドクリーニング機能が働きビデオヘッドの清掃をします。
- ●ビデオカセットを入れた直後または取出すとき。
- ●ビデオカセットが入っている状態で電源を「入」または「切」にしたとき。

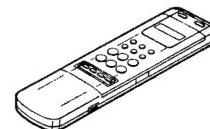
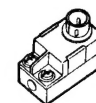
■ヘッドクリーニングボタン
テープを再生したとき，画面が下の写真のようになるときは，ヘッドクリーニングボタンで次のようにヘッドをクリーニングできます。

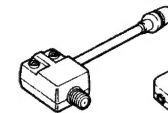
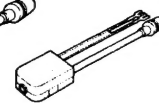
1 ビデオカセットを入れ，停止状態にする。

2 ヘッドクリーニングボタンを一回押す。
- ●ヘッドクリーニングが始まります。一回のクリーニング時間は約10秒間です。
- ●ヘッドクリーニング中はテレビ画面に「HEAD CLEANING」が表示されます。
- ●ヘッドクリーニング中は多少，音がしますが故障ではありません。

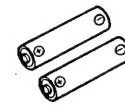
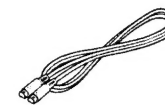
3 テープを再生し，映りが良くなったか確認する。
- ●映りが良くならないときは，この2，3の操作を数回く り返す。

ご注意：
- ●ヘッドクリーニング操作を何回やっても，映りが良くならないときは，別売りのヘッドクリーニングテープ（T-CL01，または，AV-210）をご使用ください。
- ●ヘッドクリーニング機能はビデオヘッドの清掃はしますが，音声ヘッドの清掃はしません。

お使いになる前に

付属品がそろっているかご確認ください。

ワイヤレスリモコン……1個（VT-RMP14）

アンテナアダプター……1個

同軸ケーブル……1本

混合器…………1個　分波器………1個

映像・音声コード………1本

電源コード……1本

単3乾電池……2個

Sコード………………1本

この取扱説明書の見かた

■この取扱説明書は，次のように構成されています。

はじめに	本機でできることの概要と各部のなまえが書いてあります。
基本の使いかた	録画，再生，タイマー録画のしかたを説明してあります。
便利な使いかた	本機でできる便利な使いかたについて説明してあります。
ご自分でビデオを設置するには	アンテナ線やテレビとの接続，チャンネルの合わせかたを説明してあります。
安全にお使いになるために・他	ご注意，専門用語の解説，索引などが書いてあります。

- ●ご自分でビデオを設置するときは，最初に「ご自分でビデオを設置するには」（44～54ページ）をお読みください。
- ●「安全にお使いになるために」（55ページ）は，必ずお読みください。

■この取扱説明書の見たいところをさがすには，次の方法が利用できます。
- ●「目次」（表紙）でさがす。…………対応するページの右端面にマーキングがしてあります。
- ●「各部のなまえ」（4～9ページ）でさがす。
- ●「索引」（63ページ）………最後のページをめくるとすぐ見ることができます。

各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

（この説明書はリモコンでの操作を主体に説明しています。）

リモコン

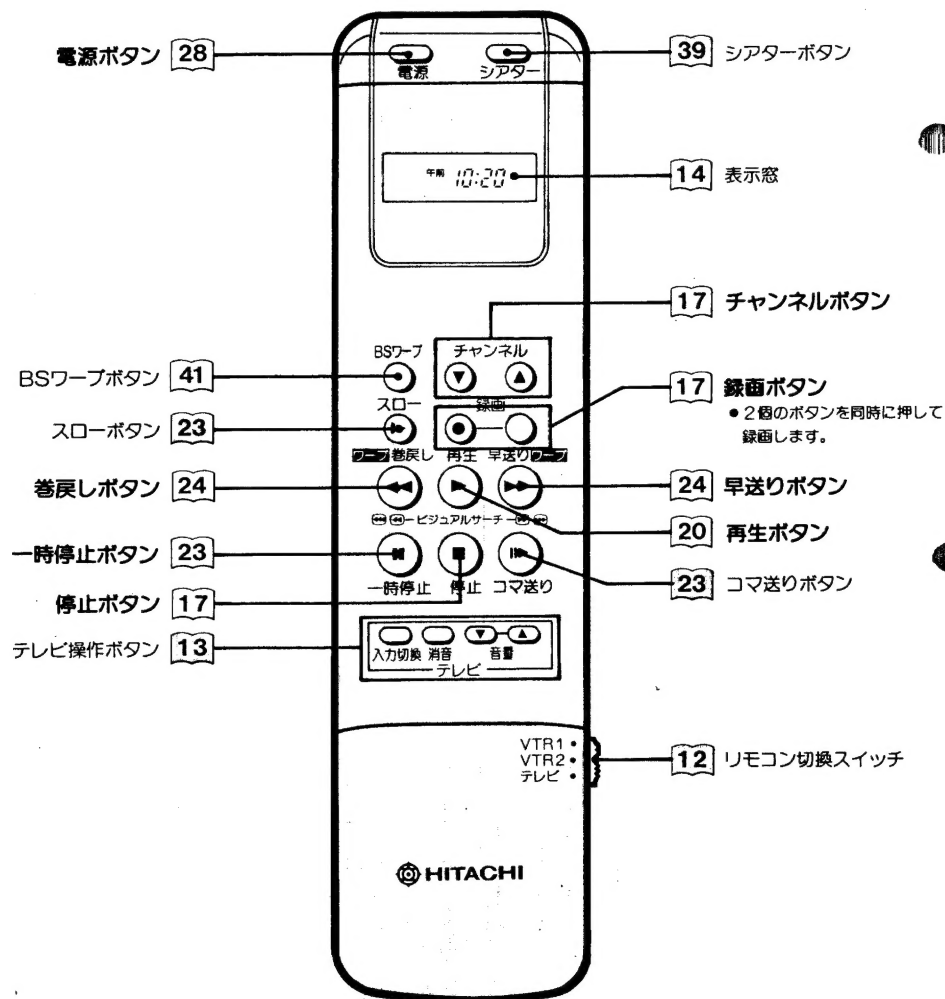
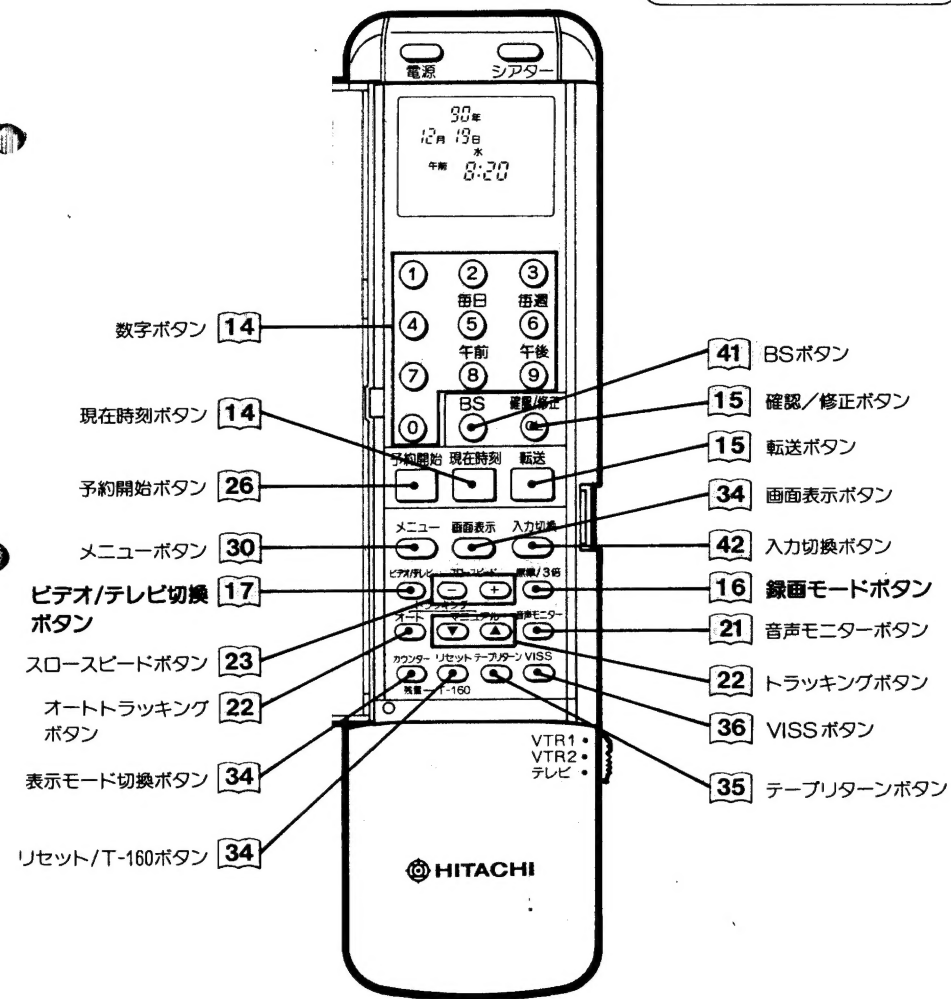
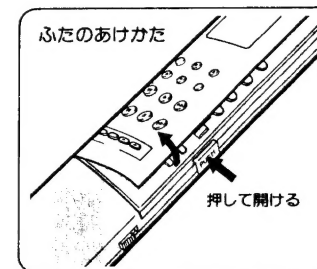
● □のボタンはリモコンだけにあるボタンです。（本体にはありません。）

■リモコンのふたを閉じたとき

■リモコンのふたを開けたとき

ふたのあけかた
押して開ける

各部のなまえ（つづき）

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

（この説明書はリモコンでの操作を主体に説明しています。）

ふたの中

■のボタンは本体だけにあるボタンです。（リモコンにはありません。）

各部のなまえ(つづき)

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

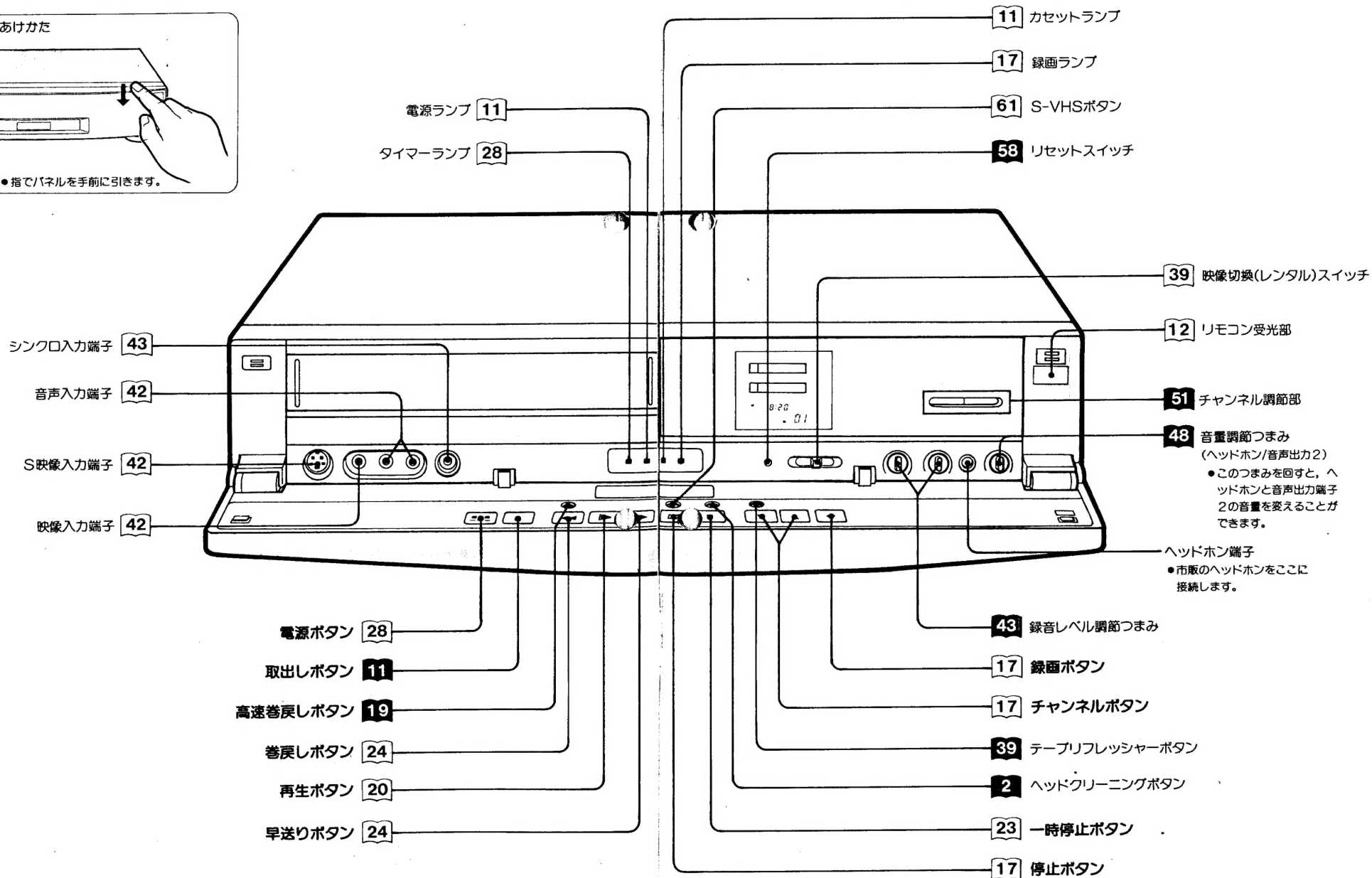
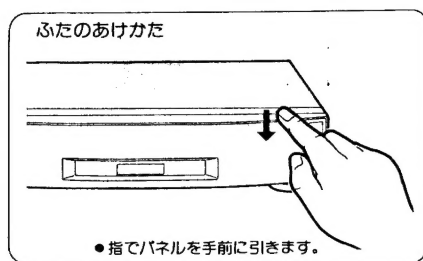
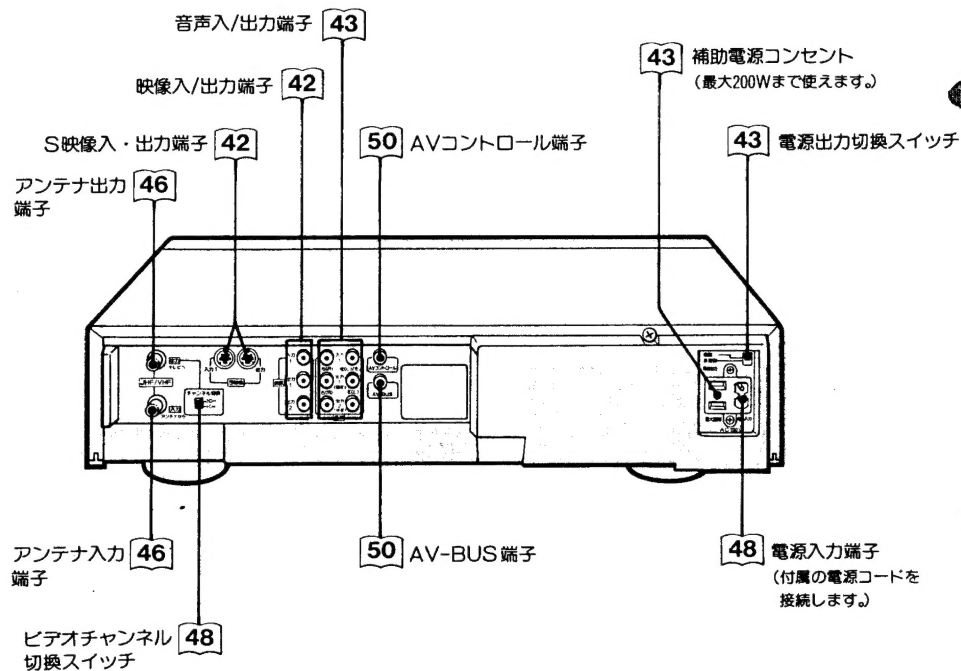
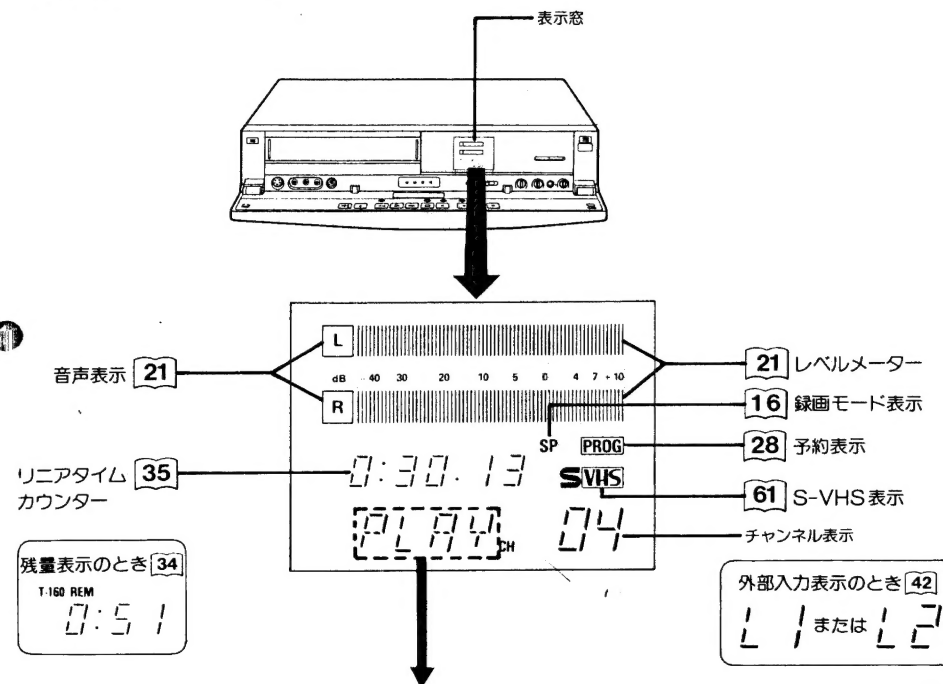
(この説明書はリモコンでの操作を主体に説明しています。)

後面

表示窓の主な表示例

ビデオの操作に応じて表示が次のように変わります。表示の一例です。

表　示	ビデオの操作または状態	表　示	ビデオの操作または状態
HELLO	電源を入れたとき	BILNG	二重音声放送を受信中
BYE	電源を切ったとき	STREO	ステレオ放送を受信中
PLAY	再生中	VTR	ビデオモードを選んだとき
REC	録画中	TV	TVモードを選んだとき
FF	早送り中	TRACK	オートトラッキング動作中
REW	巻戻し中	TUNE	受信チャンネル調節時
CUE	早送り再生中	SLEEP	オフタイマー操作時
REV	巻戻し再生中	FRESH	テープリフレッシュ中
SLOW	スロー再生中	VISS	VISS信号記録時
STOP	停止したとき	STILL	静止画再生中
TIMER	タイマー(クイックタイマー)録画待機中	R-PLY	RENTAL PLAY(YES)を選んで動作中
T-REC	タイマー(クイックタイマー)録画中	S-REW	高速巻戻し中
WARP	ワープサーチ中		

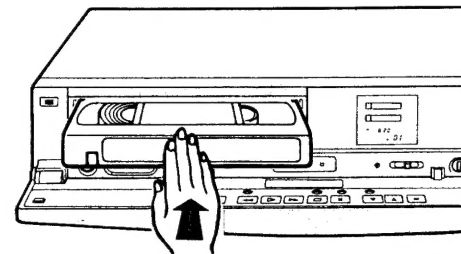
基本の使いかた

ビデオでは，録画，再生，タイマー録画が基本の使いかたです。
この章では，これらについて説明してあります。

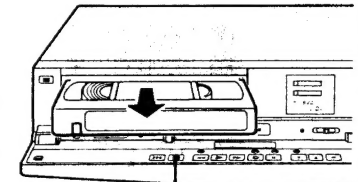
テープの出し入れ

本体操作部のふたをあけてから行います。

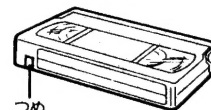
入れかた

中央部を押しながら入れる

電源ランプ　カセットランプ

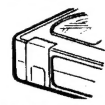
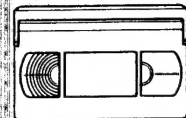
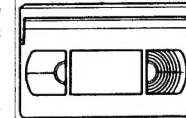
- 自動的に電源が入り，電源ランプとカセットランプが点灯します。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。
- カセット挿入口に手や異物を入れないでください。ケガや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

出しかた

- 電源を入れなくてもテープを取り出せます。

テープの「つめ」について（誤消去の防止）

誤消去防止

大切な録画を誤って消さないために

- 「つめ」を折る。

ふたたび録画するときは

- セロハンテープを二重にはる。

- ビデオテープは裏返しては使えません。

テープの録画時間について

テープの種類と録画時間

テープの種類	SP（標準モード）	EP（3倍モード）
T-160	2時間40分	8時間
T-140	2時間20分	7時間
T-120	2時間	6時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-60	1時間	3時間
T-30	30分	1時間30分

リモコンの使いかた

ビデオを操作するとき

リモコン受光部

お使いになる前に
付属の乾電池を入れてください。

1 ふたを開ける

2 乾電池を入れる

⊕と⊖を
図の向きにして入れます

3 ふたを閉じる

リモコン切換スイッチを"VTR1"にしてから操作します。

VTR1•
VTR2•
テレビ•

テレビ操作をするとき

リモコン受光部

□のボタンが使えます。

- 入力切換，消音，音量ボタンはリモコン切換スイッチの位置に関係なく，テレビの操作ができます。
- 電源，チャンネルおよびふたの中の音声モニターボタンはリモコン切換スイッチを"テレビ"にしたとき，テレビの操作ができます。

リモコン切換スイッチを"テレビ"にしてから操作します。

VTR1•
VTR2•
テレビ•

こんなときは……

■リモコンで操作できるテレビは……

- 昭和60年以降に発売された，当社製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどが操作できます。

■リモコンが働かないときは…………

- リモコン切換スイッチが合っていない。
  ビデオを操作するときは ➡ "VTR 1"
  テレビを操作するときは ➡ "テレビ"

> - このビデオは"VTR 1"の位置でビデオの操作ができるように調節されています。
> - また，このリモコンで2台のビデオが操作できるように"VTR 2"の位置があります。詳しくは 40

- 乾電池が正しく入っていない。
  12 でもう一度確認してください。
  - 乾電池を交換するときは，古い乾電池を抜いてから，約30秒たってから新しい乾電池を入れてください。
    リモコンの表示窓が誤表示したり，ビデオの操作ができなくなることがあります。
- 障害物がある
  ビデオとリモコンの間に障害物があると，リモコンからの赤外線がビデオに届きません。
- 距離が離れすぎている
  ビデオ（テレビ）から約7メートル以上離れると操作できないことがあります。

■リモコンで操作したときは…………

- 表示窓の送信マーク 📶 が点滅します。

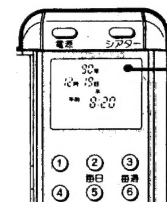
乾電池について

- 乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコンの到達距離が短くなったり，表示窓の文字が薄くなったときは乾電池を交換してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ショートさせたり，分解，加熱，また火に投入したりしないでください。

ふたの上のボタンを使うときは

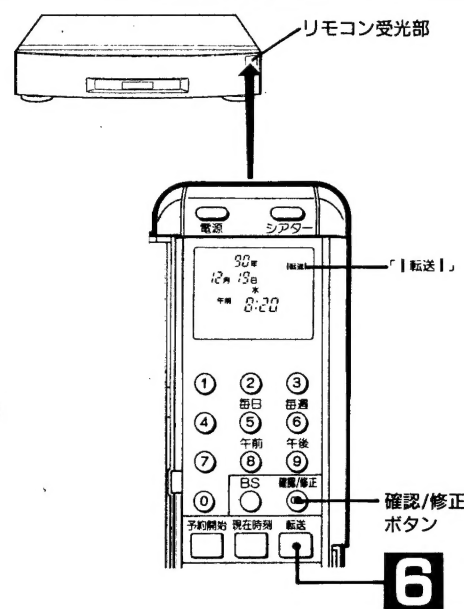
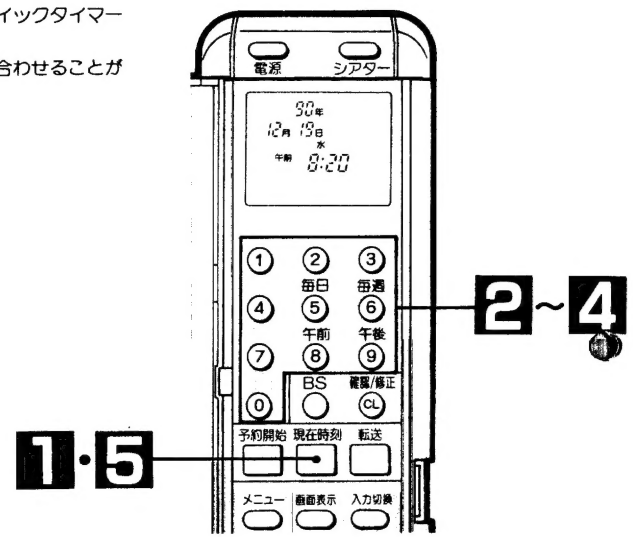
ふたを確実に閉じる。
- ふたが閉じていないと，ボタンを押しても，操作できません。

ふたの中のボタンを使うときは

- 側面のボタンを押してふたを開ける。

時計の合わせかた

- ●時計を合わせるときは，最初にリモコンの時計を合わせた後，ビデオの時計を合わせます。
- ●ビデオの時計を合わせておかないと，クイックタイマー録画やタイマー録画ができません。
- ●ビデオの電源の入／切に関係なく時計を合わせることができます。

たとえば……

午前８時20分
西暦1990年12月19日
に合わせるとき

こんなときは……

■合わせている途中で間違えたとき
- ●確認/修正ボタンを押し，点滅を間違えたところまで戻してから修正します。

■合わせている途中で表示が消えたとき
- ●操作が約１分以上中断すると，それまで合わせた内容が消えてしまいます。もう１度合わせ直してください。

■合わせたあと，間違いに気がついたとき
- ●現在時刻ボタンを押して，リモコンの表示窓に「転送」の文字を表示させた後，確認/修正ボタンを押して，点滅を間違えたところまで進めて修正します。

■ビデオの時計を合わせ直すとき
- ●リモコンの時計を上の手順で修正した後，ビデオに転送します。

■停電があると
- ●約30分間以上停電すると，ビデオの時計は「－－：－－」となります。このときは，現在時刻ボタンを押した後，転送ボタンを押してビデオに転送します。

1 現在時刻ボタンを押す

現在時刻

〔リモコンの表示窓〕

－－年 －－月 －－日 午前/午後 －－：－－

2 時刻を合わせる

午前 ⑧（午前） ⓪⑧（時） ②⓪（分）

- ●「午前」に合わせるときは ⑧ を押す。
- ●「午後」に合わせるときは ⑨ を押す。

－－年 －－月 －－日 午前 8:20

- ●ひとけたの数字を合わせるときは，初めに ⓪ を押します。

3 月・日を合わせる

①②（月） ①⑨（日）

－－年 12月 19日 午前 8:20

4 年を合わせる

⑨ ⓪（年）

- ●「年」は西暦の下２けたを合わせる。（1990年は90に合わせます）

90年 12月 19日 水 午前 8:20

- ●曜日は自動的に表示されます。

5 時報などに合わせて現在時刻ボタンを押す

現在時刻

- ●これでリモコンの時計を合わせることができました。ビデオの時計を合わせるときは 6 の操作をします。

90年 12月 19日 水 午前 8:20 転送

- ●リモコンの時計はこのときから時計動作を始めます。

6 転送ボタンを押す

転送

- ●リモコンをビデオのリモコン受光部に向けて転送ボタンを押す。
- ●「ピッ」と音がしてビデオの表示窓に時刻が表示されます。

〔ビデオの表示窓〕

AM 8:20

- ●ビデオの時計はこのときから時計動作を始めます。

テレビ番組の録画

見ている番組を録画するとき(同時録画)

テレビの準備

1. テレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。

録画をやめるときは

1 「つめ」の折れていないテープを入れる

2 録音レベルを合わせる

●手ごたえのある中央に合わせておくと，ほぼ適正レベルで録音されます。

3 録画モードを選ぶ

●ボタンを押すたびに「SP」(標準)と「EP」(3倍)に切換わり，ビデオの表示窓に表示されます。

4 録画したいチャンネルを選ぶ

●リモコンの⓪～⑨のボタンでもチャンネルを選ぶことができます。

5 録画ボタンを押す

●録画ランプが点灯し，録画が始まります。

6 停止ボタンを押す

●録画が終了します。

●S-VHS方式で録画するときは，ビデオの表示窓に「S-VHS」表示がついていることを確認します。

S-VHS

●画質や音質を重視するときは「SP」(標準)を選びます。

●テレビに選んだ番組が現われないときは，ビデオ／テレビ切換ボタンを押す。

●「つめ」の折れたテープが入っていると，テープが出てきます。
●テレビを見ないときは，テレビの電源を切っても録画されます。

●テープの最後まで録画すると自動的に巻戻します。(オートリワインド)
●録画したテープを見たいときは，巻戻しボタンを押して，テープを巻戻した後，再生します。

テレビ番組の録画(つづき)

録画しながら別の番組を見るとき(裏番組録画)

1
5
2
(ビデオ/テレビ切換ボタンはふたの中にあります。)
3・4

1 録画を始める

●前ページの1～5の操作をして，録画を始めます。

2 ビデオ／テレビ切換ボタンを押す

●表示窓に「TV」の表示が約5秒間現われます。

3 テレビの入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

4 テレビを見たいチャンネルに合わせる

●テレビで選んだチャンネルが画面に現われます。

●ビデオで録画している番組は変わりません。

録画をやめるときは

5 停止ボタンを押す

テープを早く巻戻したいときは

高速巻戻しボタンを押す

●通常の巻戻しに比べ，約1.5倍の速さ(T-120使用時)で巻戻すことができます。

●高速巻戻し中はビデオの表示窓に「S-REW」が表示されます。

●オートリワインド時は高速巻戻しをしません。

●テレビのチャンネルボタンで見たいチャンネルに合わせるときは，ビデオ／テレビ切換ボタンで「TV」を選んでください。48

●テープの最後まで録画すると，自動的に巻戻します。(オートリワインド)

●録画したテープを見たいときは，巻戻しボタンを押して，テープを巻戻した後，再生します。

録画したテープを見る

再生をやめるときは

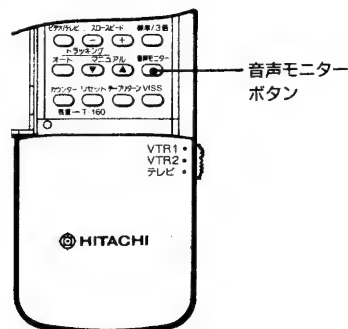
●「つめ」の折り取られているテープを入れると，自動的に再生を始めます。 33

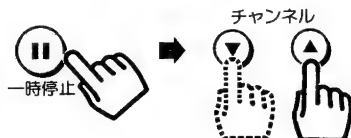
●テープを早送りまたは巻戻したいときは，停止ボタンを押したあと，早送りまたは巻戻しボタンを押します。

●テープを巻戻し中に電源を切るとテープを最初まで巻戻した後，自動的に電源が切れます。（オートリワインドシャットオフ）ただし，高速巻戻し中はこの機能は働きません。

録画・再生時こんなときは

■二重音声放送を録画したいとき

- 特別な操作はいりません。
ステレオ放送はステレオで二重音声放送は主音声（日本語）と副音声（英語）が同時に記録されます。
- 録画中は音声モニターボタンで聞きたい音を選ぶことができます。（録音される音声には影響がありません。）

■録画中に別の番組に切換えて録画したいとき

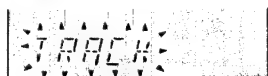
- 一時停止ボタンを押した後，チャンネルを切換える。

- チャンネルを切換えた後，一時停止ボタンをもう一度押すと，録画が始まります。

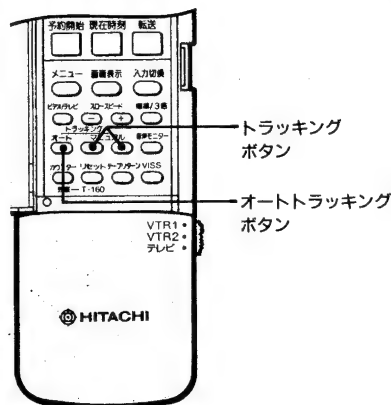
■録画中に不要な場面（コマーシャルなど）を飛ばして録画したいとき

- 一時停止ボタンを押す。

- テープ走行が一時止まります。
- もう一度ボタンを押すと，再び録画できます。
- 録画一時停止を約５分続けると，テープとヘッド保護のため，自動的に停止します。

■再生したときの絵がおかしいとき（デジタルオートトラッキング機能）

- テープの再生を始めると，オートトラッキング機能が働き，自動的に最も画面がきれいになるように調節します。このときビデオの表示窓に「TRACK」が数秒間点滅します。

- テープに傷がついていたり，あるいは録画状態の悪いテープはオートトラッキング機能が正常に働かないことがあります。この場合，トラッキングボタンを押して，最も画面がきれいになるように調節します。

- トラッキングボタンを押した後，オートトラッキングボタンを押すと，再びオートトラッキング機能が働きます。

いろいろな再生

（再生中に下記操作をするといろいろな再生ができます。いろいろな再生中は音は出ません。）

静止画再生（見たい画面を止めて見る）

一時停止ボタンを押す

- ボタンをもう一度押すと再生に戻ります。
- 静止画再生を約５分間続けると，テープとヘッド保護のため自動的に停止します。

コマ送り再生（静止画面を１コマづつ見る）

静止画再生にしたあと，コマ送りボタンを押す

- ボタンを押すたびに１コマづつ見ることができます。
- ボタンを押し続けると連続したコマ送り再生になります。

スロー再生（ゆっくりした速さで見る）

スローボタンを押す

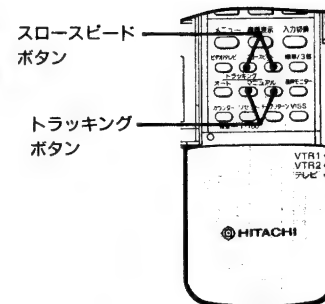
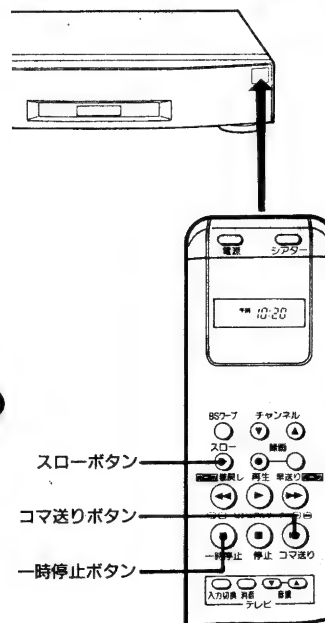
- スロースピードボタンで速度を調節できます。
- スロー再生を約５分間続けると，テープとヘッド保護のため自動的に停止します。
- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。

スロースピードボタン

トラッキングボタン

スキップ再生（不要な場面を飛ばして見る）

コマ送りボタンを押す

- 約30秒間分の画面を早送り再生したあと，再生に戻ります。
- ２回以上押したときは，最後に押したところから，約30秒間の画面を早送り再生したあと，再生に戻ります。

こんなときは………

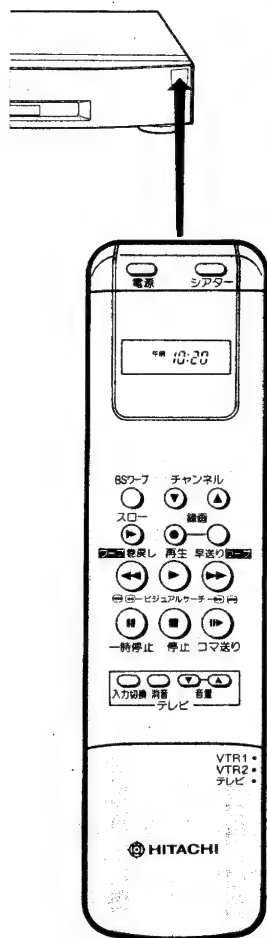
■静止画再生/スロー再生の画面が上下にゆれるときは

- 静止画再生にして，トラッキングボタンを押して調節します。
- スロー再生の画面のゆれも抑えることができます。
- テレビによってはゆれを抑えることができないことがあります。

■静止画再生/コマ送り再生/スロー再生でノイズが出たときは

- スロー再生にして，トラッキングボタンで調節します。
- 静止画再生/コマ送り再生も自動的にノイズが少なくなります。

見たい画面のさがしかた(サーチ)

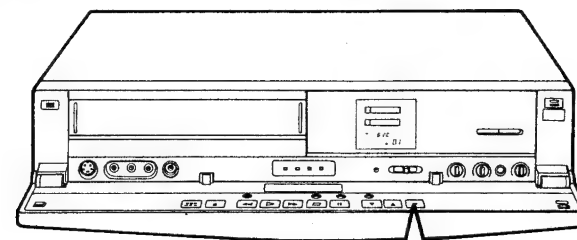
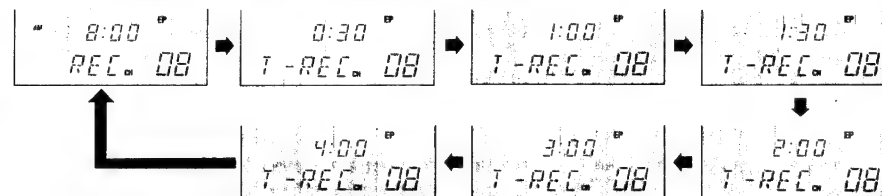
次の3つの方法でサーチできます。

●サーチの画面には数本のノイズが出ます。
●サーチ以外にリニアタイムカウンターやVISSを使って見たい画面をさがすこともできます。詳しくは 35

●サーチ時のスピードは次のようになります。(再生時との比較)

サーチの種類 ＼ 録画モード	「SP」標準	「EP」3倍
ビジュアルサーチ	約5倍	約15倍
高速サーチ	約7倍	約21倍
ワープサーチ	約10倍	約30倍

クイックタイマー録画 (本体のボタンで操作します。)

あらかじめ決めた時間だけ録画したあと，自動的にビデオを止めておくことができます。

ご注意：ビデオの時計を合わせておかないと，クイックタイマー録画はできません。

●ボタンを押すたびに，図のように表示窓の録画時間が変わります。

●表示された時間だけ録画された後，自動的に電源が切れます。
●クイックタイマー録画中は，ビデオの表示窓に，録画の残り時間が表示されます。
●クイックタイマー録画中に，録画ボタンを押すと録画時間を変更することができます。

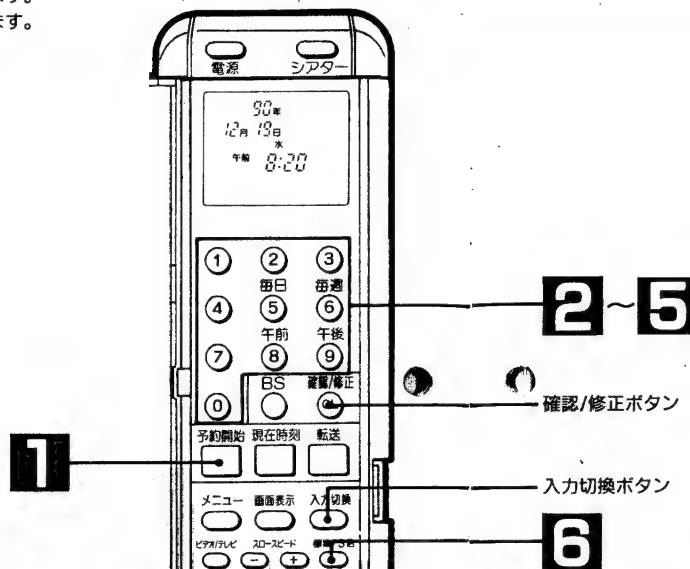
●クイックタイマー録画中に録画をやめたいときは，電源ボタンを押したあと，10秒以内に停止ボタンを押します。

タイマー録画

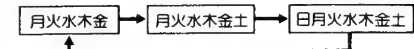
- タイマーを合わせておくと，自動的にテレビ番組の録画ができます。
- 今日から一年先まで，全部で８つの番組を予約することができます。
- 毎日の連続ドラマや毎週一回の映画も予約できます。

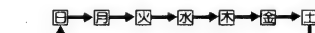
たとえば
４チャンネルを
午後8時30分から**午後10時54分**まで
12月20日に録画したいとき
（１回録画）

ビデオの準備

- 「つめ」の折れていないテープを入れる。

こんなときは……

■途中で間違えたとき
確認/修正ボタンを押して，点滅を間違えたところまで戻してから修正してください。

■毎日同じ時間の番組を予約するとき
4の操作のあと ⑤（毎日）ボタンを押します。
- ボタンを押すたびに月～金，月～土，日～土の予約が選べます。

- このあと，5－8の操作をします。

■毎週同じ時間の番組を予約するとき
4の操作のあと ⑥（毎週）ボタンを押す。
- ボタンを押すたびに曜日が選べます。

- このあと，5～8の操作をします。

次ページへ続く

1 予約開始ボタンを押す

〔リモコンの表示窓〕

2 録画したいチャンネルを合わせる

- ひとけたの数字を合わせるときは初めに ⓪ を押してください。

3 開始時刻を合わせる

- 午前は ⑧ を押します。
- 午後は ⑨ を押します。

4 終了時刻を合わせる

- 午前/午後は自動的に切換わります。

5 録画する日にちを合わせる

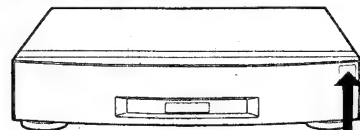
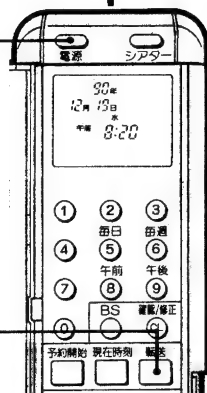
- 曜日は自動的に表示されます。
- 録画する日が24時間以内のときは，自動的に合うので合わせる必要はありません。

6 録画モードを合わせる

- ボタンを押すたびに，次のように切換わります。
「3倍」▶「標準」▶「オート」▶「表示は一度消える」

- 外部機器からタイマー録画するときは，入力切換ボタンで「L１」または「L２」を選びます。

- 「オート」を選ぶとテープの残量に応じて録画モードが自動的に切換わります。
- 録画モードは2～5のときも合わせることができます。

タイマー録画(つづき)

7 リモコンをビデオに向けて 転送ボタンを押す

●ビデオに予約が転送され PROG が点滅します。

〔ビデオの表示窓〕

8 ビデオの電源を切る

●表示窓に「TIMER」が現われます。またタイマーランプが点灯します。
●開始時刻になると，自動的に録画が始まり，終了時刻になると自動的に電源が切れます。

〔ビデオの表示窓〕

●「つめ」の折れたテープが入っていると，テープが出てきます。またこのとき表示窓の「TAPE」とフロントパネルのタイマーランプが点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

これは便利

電源を切り忘れた場合でも，タイマー録画開始5分前になると警告音を出し，自動的にビデオの電源を切る機能があります。詳しくは 33

こんなときは……

■録画モードで「オート」を選んだとき
●テープの残量に応じて自動的に録画モードが切換わります。最初は「標準」で録画を始め，途中でテープがなくなりそうになると，録画モードを自動的に「3倍」に切換えます。
●録画モードの切換わった部分を再生すると映像／音声が乱れます。

■予約した内容の確認や取消しをするとき
●次ページをご覧ください。

■タイマー録画中に録画をやめたいとき
●電源ボタンを押した後，10秒以内に停止ボタンを押します。

■停電があると
●約30分以上停電すると「－－：－－」となり，時計と予約内容が消えてしまいます。もう一度時計と予約を合わせ直してください。

■テープが入っていないとき
●ビデオの表示窓の「TAPE」とフロントパネルのタイマーランプが点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

■予約内容が重なったとき
●先に始まった番組が最後まで録画された後，もう一つの番組が途中から録画されます。

■ビデオに予約を転送したとき，「ERROR」や「FULL」が出たとき

「ERROR」：●ビデオの時計が「－－：－－」になっています。時計を合わせてから転送します。
●リモコンをビデオに向けないで転送しています。ビデオに向けて転送します。

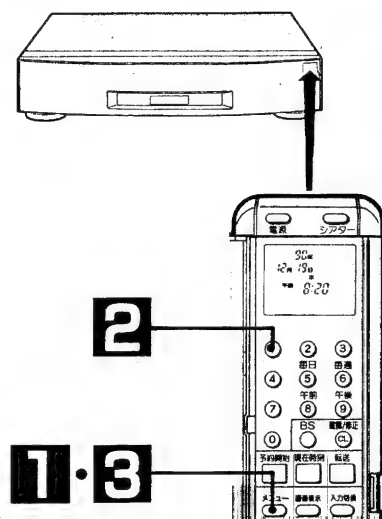
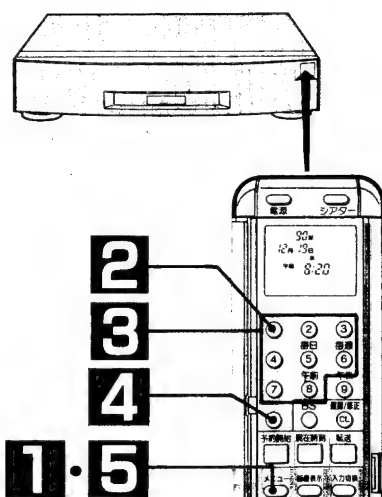
「FULL」：●すでに8つの番組が予約されておりますので，予約はできません。

■タイマー録画予約したあと，ビデオをふつうに使いたいとき
●ビデオの電源を入れると，ふつうに使えます。使い終わった後は必ずビデオの電源を切ってください。ビデオの電源を切り忘れるとタイマー録画できません。

■タイマー録画中は
●一時停止などのボタン操作はできません。

■続けて2つ以上の番組を予約するとき
●前ページ1～7の操作をくり返します。前の予約内容がリモコンの表示窓に表示されているときは，最初に予約開始ボタンを2回続けて押してください。

予約の確認と取り消し（テレビ画面を見ながら操作します。）

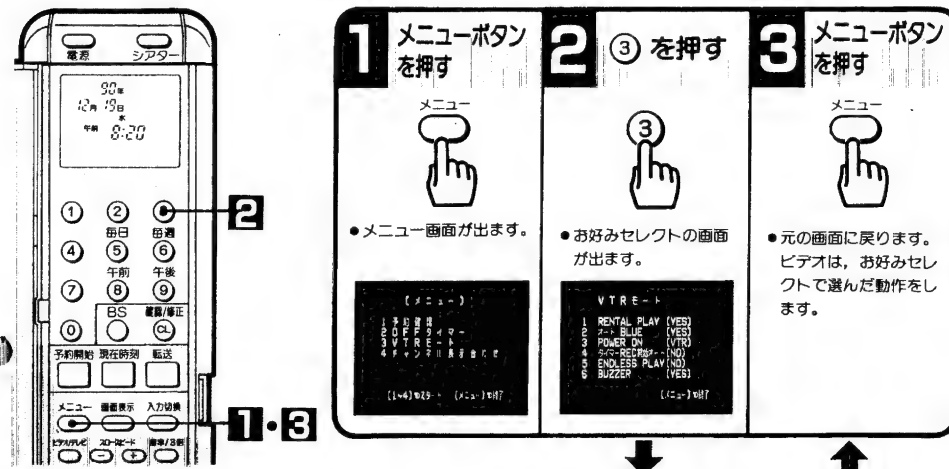
予約内容を確認するには

予約内容を取り消すには

●メニュー画面および予約内容を表示した画面は約１分たつと，自動的に元の画面に戻ります。

便利な使いかた

この章では，本機でできる便利な使いかたを説明してあります。
マスターされると大変便利に，本機をお使いいただけます。

お好みセレクト（テレビ画面を見ながら操作します。）

ビデオの動作機能をお好みに合わせて選ぶことができます。

1.RENTAL PLAY (YES)または(NO)

●①を押して切換えます。

〔YES〕：「つめ」の折れているテープを入れると自動的に再生を始めます。また何も録画していない部分が1分間以上続くと自動的にテープが最初まで巻戻されたあと，テープが出てきます。

〔NO〕：上の機能は働きません。
●音声だけを記録したテープを再生するときは，〔NO〕を選んでください。

2.オートBLUE (YES) または (NO)

●②を押して切換えます。

〔YES〕：ビデオのチャンネルボタンでテレビ放送のない空きチャンネルを選んだときや，音声のみを記録したテープを再生すると，画面がブルーになります。
●電波の強い地域での空きチャンネルや未録画テープまたは録画状態の悪いテープを再生したときは，この機能が働かないことがあります。
●放送が終了したチャンネルや，放送のないチャンネルでは画面はブルーになりますが，音はミュートされません。

〔NO〕：上の機能は働きません。

3.POWER ON (VTR) または (TV)

●③を押して切換えます。

〔VTR〕：ビデオの電源を入れたとき，ビデオ／テレビ切換ボタンを「ビデオ」にします。

〔TV〕：ビデオの電源を入れたとき，ビデオ／テレビ切換ボタンを「テレビ」にします。

4.タイマーREC開始オート(YES)または(NO)

●④を押して切換えます。

〔YES〕：タイマー録画の開始5分前に，ビデオの電源が「入」になっていると，警告音を発します。このとき，ビデオが停止状態の場合，自動的にビデオの電源を切ります。

〔NO〕：上の機能は働きません。

5.ENDLESS PLAY(YES)または(NO)

●⑤を押して切換えます。

〔YES〕：再生が終わったら自動的にテープの巻き始めまで巻戻した後，再び再生を始めます。停止ボタンを押さないかぎり動作し続けます。

〔NO〕：上の機能は働きません。

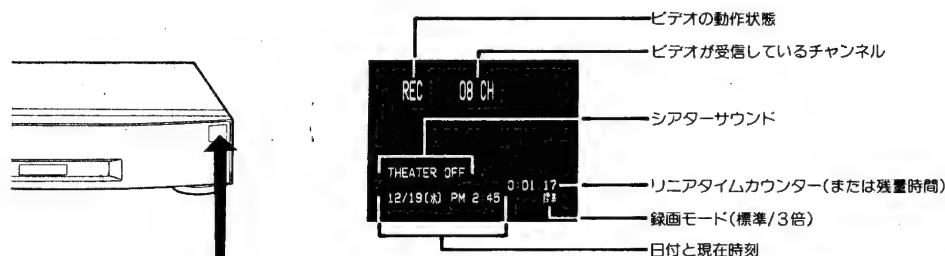
6.BUZZER (YES) または (NO)

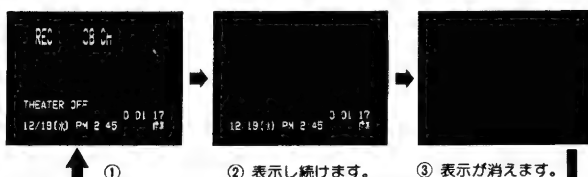
●⑥を押して切換えます。

〔YES〕：ビデオの操作をすると，「ピッ」という音がします。

〔NO〕：操作をしても音は出ません。

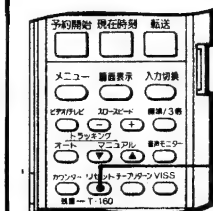
画面表示（テレビ画面を見ながら操作します。）

ビデオを操作すると，その都度テレビ画面に下図の表示が自動的に約5秒間出ます。

●画面表示ボタンまたは表示モード切換ボタンでも画面表示を切換えることができます。

■画面表示ボタンで画面表示を切換える
●ボタンを押すたびに，次のように表示が切換わります。

●③の状態を選ぶとビデオを操作しても何も表示が出ません。テープ編集時，本機を再生側ビデオに使うとき便利です。……モード表示 OFF

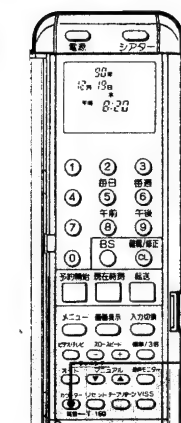
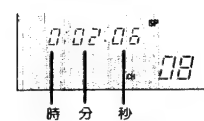
■表示モード切換ボタンで画面表示を切換える
●ボタンを押すたびに，次のように切換わります。

●ビデオの表示窓も一緒に切換わります。

■テープ残量時間表示について

●残量時間は録画または再生を始めると約30秒後に表示されます。
●上の③の例では録画モードが「標準」で，テープの残量時間は1時間11分です。
●T-160やT-140テープを使うときは，残量時間表示のときリセット/T-160ボタンを押して，ビデオの表示窓に「T-160」を表示させてください。
●T-30/60/90/120/140/160テープは，残量時間を正しく表示しますが，これら以外のテープは，テープの構造の違いにより正しく表示しないことがあります。

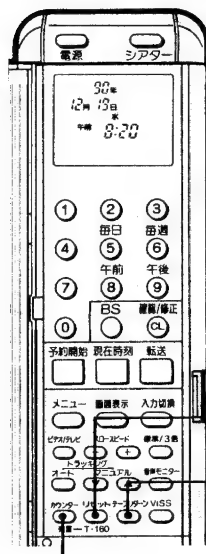
便利な画面のさがしかた（テープリターン機能）

リニアタイムカウンターを使うとテープリターン機能で見たい画面を簡単にさがすことができます。

■リニアタイムカウンターについて
テープを入れてテープが走行すると「0：00．00」からスタートし，経過時間を「時・分・秒」で表示します。

■リニアタイムカウンターを選ぶには表示モード切換ボタンを押します。34
●ビデオの表示窓とテレビ画面の両方にリニアタイムカウンターは表示されます。

●高速巻戻し中やテープを取り出したときは，自動的に「0：00．00」にリセットされます。

ご注意：リニアタイムカウンターはテープに何も録画されていないときは動作しません。

テープリターン機能

リニアタイムカウンターを「0：00．00」に合わせた位置の頭出しができます。

1 録画または再生中に，もう一度見たい場面でリセットボタンを押す

●リニアタイムカウンターが表示されていないときは，表示モード切換ボタンを押してリニアタイムカウンター表示を選びます。

2 録画や再生が終わったら，停止ボタンを押した後，テープリターンボタンを押す

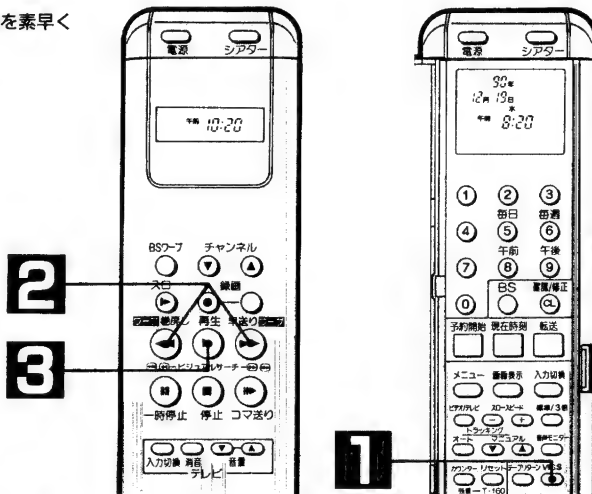
●ビデオの表示窓に「REW」または「FF」が表示され，「0：00．00」の位置まで自動的に巻戻し（早送り）されます。

便利な画面のさがしかた（つづき）

VISSのオートスキャナプレイ機能

〔見たい番組がテープの何番目に録画してあるか分からないとき，さがすのに便利です。〕

本機では録画を始めるたびにVISS信号が自動的に番組の頭の部分に記録されます。
このVISS信号を検知して見たい番組を素早くさがすことができます。

VISSボタンを押すと，テレビ画面にVISSモードメニューが現われます。

1 停止状態でVISSボタンを押す

●表示窓に「VISS」が表示されます。

2 早送りまたは，巻戻しボタンを押す

●番組の頭（VISS信号の部分）まで早送りまたは巻戻された後，自動的に15秒間再生をくり返します。

3 見たい番組が現われたら再生ボタンを押す

●再生になります。

VISS信号は

録画ボタンを押すと，自動的に記録されますが，録画一時停止から録画に戻しても記録されません。
ただし音声だけ録音するときは，録画一時停止から録画に戻したときでも記録されます。

VISS信号を検知しないとき

次のような場合，オートスキャナプレイとDRPS機能を操作したときVISS信号を検知しないことがあります。
- テープの巻始めから録画を始めたとき。
- 他のビデオで録画したテープにVISS信号を書き込んだとき。
- 録画時にテープスピードを切換えた部分にVISS信号を書き込んだとき。
- 録画してある時間が10分以内の番組。
- VISS信号が記録されている付近で巻戻し（または早送り）ボタンを押したとき。

〔VISS（VHS Index Search System）を使って〕

VISSのDRPS（Direct Play Scanner）機能

〔見たい番組がテープの何番目に録画してあるか分かっているとき，さがすのに便利です。〕

オートスキャナプレイと同じくVISS信号を検知して番組の頭をさがします。オートスキャナプレイと操作および動作が少し違います。

1 停止状態でVISSボタンを押す

●表示窓に「VISS」が表示されます。

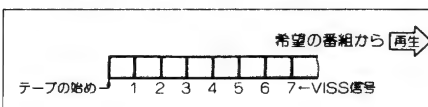
2 ⓪～⑨のボタンで見たい番組を選ぶ

●見たい番組が7番目のときは⓪⑦と押す。

3 再生ボタンを押す

●テープは一度，始めまで巻戻されたあと，早送りされます。
●希望の番組で自動的に再生します。

DRPS機能について

●テープの始めからの番号で指定した番組を再生します。

DRPS操作時のVISS信号について

●一度DRPS操作するとカセットをビデオから取り出すまで再生している番組がテープの最初から何番目に録画されているかを記憶しています。従って次にDRPSをするときには直接選んだ番組まで早送りまたは巻戻しした後，再生になります。

オフタイマー（テレビ画面を見ながら操作します。）

ビデオの電源を自動的に切ることができます。今から最大99分以内の時刻を合わせておくと自動的に合わせた時刻になると電源が切れます。録画しているときなどに便利です。

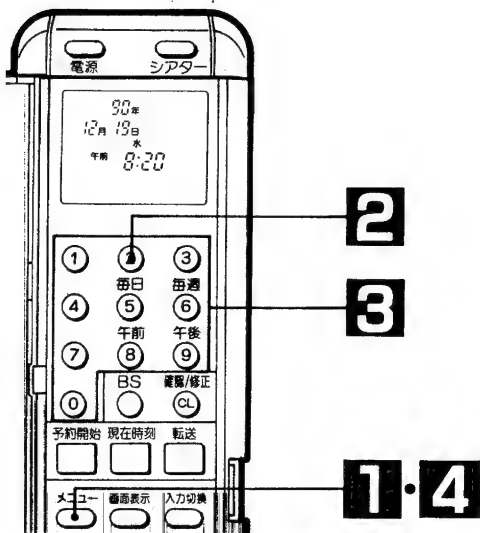
例えば，50分後にビデオの電源を切りたいときは，

●メニュー画面が現われます。

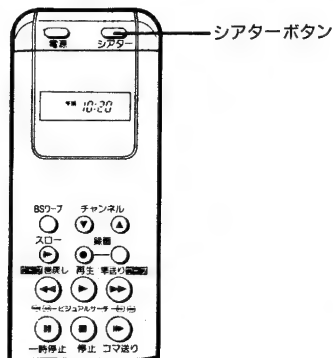
●OFFタイマーが表示されます。

●取り消したいときは ⓪⓪ と押します。

●ビデオの表示窓に「SLEEP」が表示され，50分後にビデオの電源が切れます。

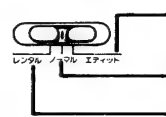
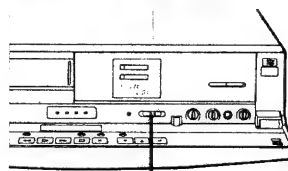
〔ビデオの表示窓〕

その他の便利な機能

■シアターボタン

ソフトテープ(特に映画など)を再生するときや，テレビ番組を見ているとき，低音を強調し迫力あるサウンドが楽しめます。

- ボタンを押すたびに「THEATER OFF」→「MUSIC」→「THEATER」が順番に表示されます。
  THEATER：ソフトテープ(特に映画など)を再生するとき，低音が強調され，迫力あるサウンドが楽しめます。
  MUSIC：テレビの音楽番組などを見るとき，効果的です。「THEATER」にくらべて，低音の強調が少し小さくなります。
  THEATER OFF：シアターサウンドを選ばないとき。
- 音声モニターボタンでノーマル音声を選んだときは，低音は強調されません。
- 音を大きくしたり，ソフトテープの音楽によっては音が歪むことがあります。このような時は「THEATER OFF」にしてください。

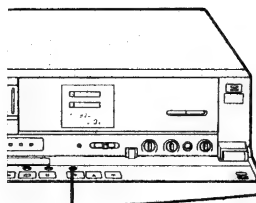
■映像切換(レンタル)スイッチ

テープ再生時の画像を調節するスイッチです。お好みに合わせ，次のように調節します。

映像切換スイッチ

- 本機を再生側にして，テープをダビングするとき，この位置にすると画像の劣化が少なくなります。
- 通常はこの位置にします。
- レンタルテープなど，くり返し何度も再生したテープは画面がざらついた感じになります。この位置にすると，ノイズが少なくなり見やすくなります。

■テープリフレッシャーボタン（テープをリフレッシュします。）

テープリフレッシャーボタン

同じテープに何回も録画を繰り返すと前の録画の消し残りがあったりします。また，前の録画を全部消してから録画する場合，ある程度時間がかかりました。テープリフレッシャーボタンを使うと約7倍の速さで消去できます。(T-120テープの場合，約17分で全部消去できます。)

① 停止状態でテープリフレッシャーボタンを押す。
  - 「つめ」が折れたテープはリフレッシュできません。「穴」にセロハンテープを貼ってください。

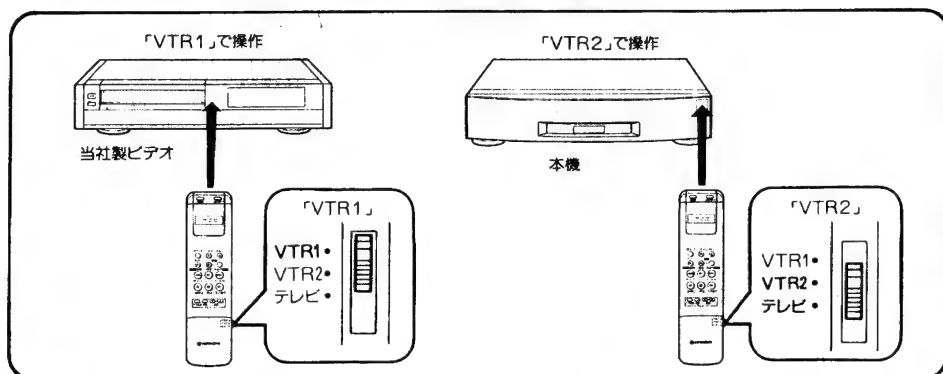
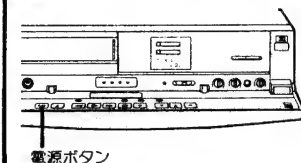
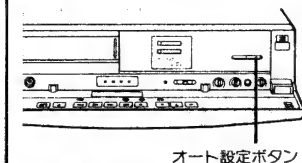
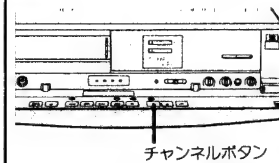
② 録画ボタンを押す。
  - リフレッシュが始まります。ビデオの表示窓に「FRESH」が現われます。

③ テープの終わりまでリフレッシュされると自動的に最初まで巻戻されます。
  - 途中でリフレッシュをやめるときは停止ボタンを押す。

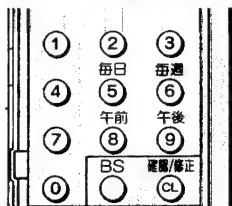
テープリフレッシャーボタンを押すと，テレビ画面に表示が出ます。

その他の便利な機能(つづき)

リモコンで2台のビデオを操作するには

付属のリモコンは本機以外の当社製ビデオの操作もできます。
リモコン切換スイッチを「VTR2」に合わせると，２台のビデオを別々に操作することができます。
(当社製ビデオは通常「VTR1」でリモコンを受信できるようになっております。)

■本機のリモコンコードを「VTR2」に切換えるには（本体で操作します。）

●表示窓に「VTR-1」が表示されます。
●「VTR-2」に変わります。

●リモコンコードを「VTR1」に戻すには，3 の操作のときチャンネルボタン(▲)を押します。
●当社製ビデオVT-6800/VT-9700/VT-17以外のワイヤレスリモコン対応のビデオの操作ができます。ただし，リモコンでのタイマー予約のできない機種があります。

■チャイルドロック

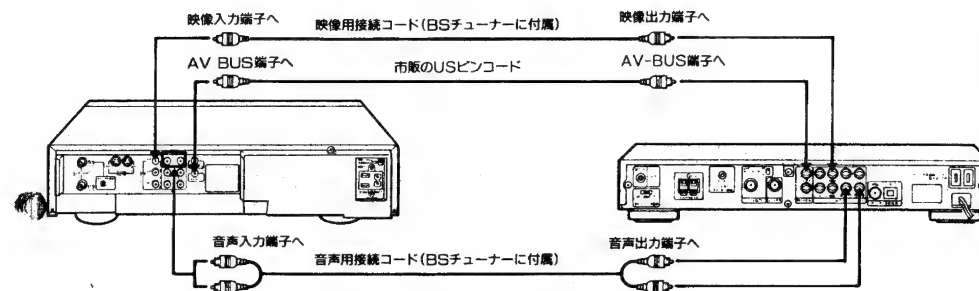
一時的に本体での操作ができないようにします。お子様のイタズラ防止に便利です。
(リモコンでのみ操作できます)

●リモコンが現在時刻を表示しているときに，
CL と 6 を同時に押します
●これで本体での操作ができなくなります。本体の操作ボタンを押すとビデオの表示窓に「LOCK」が表示されてお知らせします。

●チャイルドロックの解除方法
リモコンの電源ボタンを押すか，またはCLと6を同時に押すとチャイルドロックは解除されます。再びロックするときは，もう一度CLと6を同時に押します。

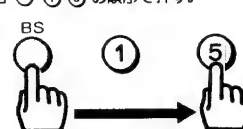
テレビ以外の機器との接続使用

衛星放送を録画するには

当社製AV-BUS端子付BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビを接続すると，本機の操作でBSチューナーやテレビを自動的にコントロールできます。BS放送の録画も簡単にできます。

●本機の電源コードはコンセントから抜いてから接続してください。また図のように本機の後面端子に接続してください。

例：衛星放送15チャンネルを録画するとき

1 ビデオのリモコンでBSチャンネルを選ぶ

●この例の場合 BS ① ⑤ の順序で押す。

●BSチューナーまたはテレビの電源が自動的に入りBS15チャンネルが選局されます。
●ビデオの表示窓にもBS15チャンネルが表示されます。
●BSワープボタンを押したあと，チャンネルボタンでも簡単にBS放送を選局できます。

2 録画ボタンを押す

●録画が始まります。
●録画中はBSチューナーまたはテレビのボタン操作はできません。
●二重音声放送のときは，主音声を左チャンネルに副音声を右チャンネルに録音します。

AV-BUS端子を接続してBS放送を録画するとき

●ビデオの電源を入れ，BS放送を選ぶとBSチューナーまたはテレビの電源も入ります。
●ビデオの電源を切ると，BSチューナーまたはテレビの電源も切れます。
●ビデオのチャンネルを切換えて，BS放送以外を選ぶとBSチューナーまたはテレビの電源が切れます。
●ビデオのリモコンの音声モニターボタンを押すと，BS放送の音声を切換えることができます。
●BSチューナーまたはテレビを本機の補助電源コンセントに接続して使うときは，本機の電源出力切換スイッチを必ず「非連動」にしてください。

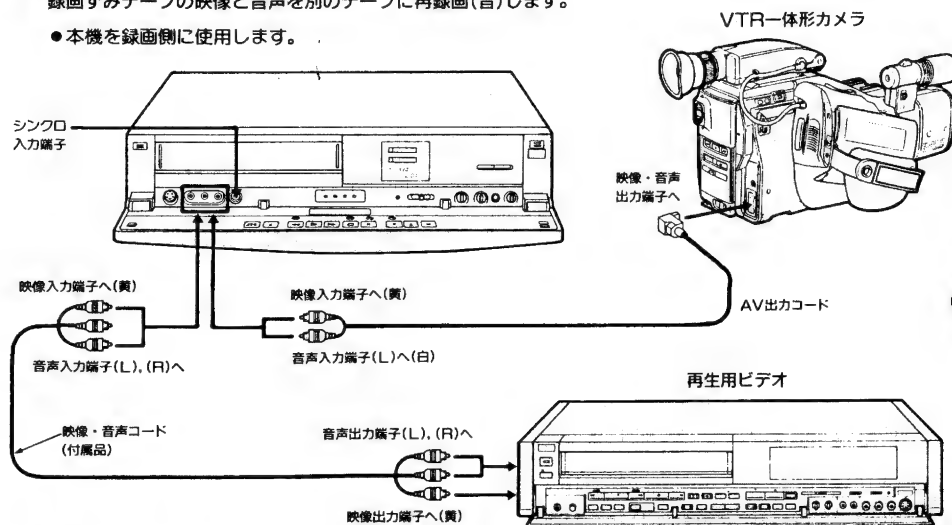
AV-BUS端子のついていないBSチューナーまたはテレビと接続してBS放送を録画するとき

●この場合，ビデオの操作でBSチューナーまたはテレビの操作をすることはできません。BSチューナーまたはテレビ側でBS放送を選んだ後，ビデオの入力切換ボタンで「L1」(外部入力1）を選び，録画してください。

テレビ以外の機器との接続使用（つづき）

テープのダビング（VTR一体形カメラまたは他のビデオからダビングするとき）

録画ずみテープの映像と音声を別のテープに再録画（音）します。

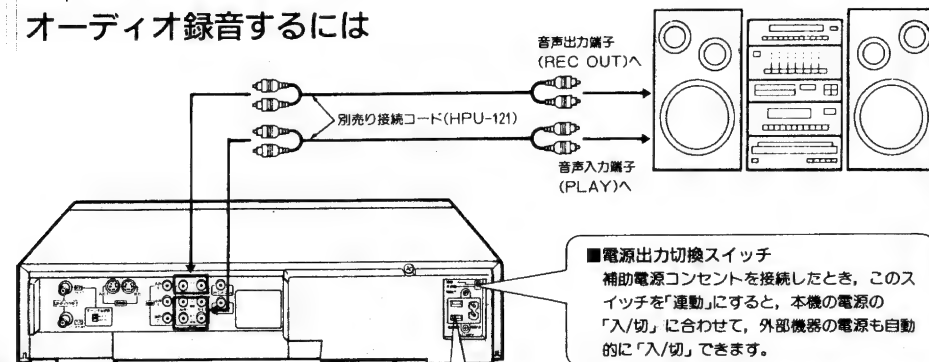
●本機を録画側に使用します。

●再生用ビデオまたはVTR一体形カメラにS映像出力端子が付いているときは，付属のSコードで本機のS映像入力端子と接続します。このとき本機の音声入力端子と相手側の音声出力端子も忘れずに接続してください。

準備

●VTR一体形カメラまたはもう1台のビデオを図のように接続する。
●本機の前面入力端子に接続したときはリモコンの入力切換ボタンで「L2」（外部入力2）を，後面入力端子のときは「L1」（外部入力1）を選ぶ。
●本機の録画モードは「SP」にしてください。「EP」で録画すると画質が劣化します。
●テレビを録画用ビデオに接続すると，編集のとき画像を確認できます。

1 VTR一体形カメラまたは再生用ビデオで再生を始める

2 録画側ビデオの録画ボタンを押す

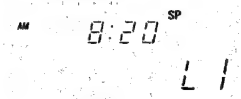
オーディオ録音するには

■電源出力切換スイッチ
補助電源コンセントを接続したとき，このスイッチを「連動」にすると，本機の電源の「入/切」に合わせて，外部機器の電源も自動的に「入/切」できます。

■補助電源コンセント
最大200Wです。200W以上の機器は接続しないでください。

準備

●オーディオ機器と本機を図のように接続する。
●前面の入力端子に接続するときは「L2」（外部入力2）を選ぶ。
●オーディオ機器の音出しをする。

1 入力切換ボタンを押して「L1」（外部入力1）を選ぶ

（ビデオの表示窓）

2 録音レベルを調節する

●手ごたえのある中央にしておけば，ほぼ適正レベルで録音することができます。
●ご自分で録音レベルを調節するときは，下欄をご覧ください。

3 録画ボタンを押す

●録音が始まります。
Hi-Fiサウンドとノーマルサウンドの両方で録音されます。
●再生するときは，音声モニターボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます。

入力端子について

●前面と後面に入力端子があります。
●前面入力端子を使うときは「L2」（外部入力2），後面入力端子を使うときは「L1」（外部入力1）を選びます。
●前面と後面の音声入力端子はどちらも(L/モノ)です。プラグを片側しか接続しないときは，(L)に接続してください。
●S映像入力端子は映像入力端子より優先します。
そのため，映像入力端子から録画するときは，S映像入力端子には何も接続しないでください。

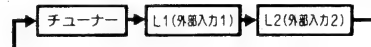
2台の当社製ビデオを使用する時

●本機のリモコンで2台とも操作することができます。40

本機を再生側に使うとき

●映像切換スイッチを「エディット」にする。39

入力切換について

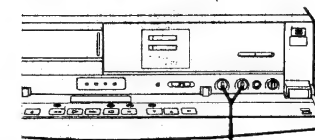
●入力切換ボタンを押すと，ボタンを押すたびに次の順序で入力が切換わります。

シンクロ入力端子について

シンクロ入力端子にリモートポーズプラグ付きのAV出力コードを接続すると，VTR一体形カメラの操作で録画側ビデオの録画スタート/ストップができます。

S映像出力端子付き機器と接続するときは

●この場合，本機のS映像入力端子と外部機器のS映像出力端子を付属のSコードで接続するとよりよい画質で録画できます。
●S映像入力端子が接続されていると，映像入力端子からは何も録画されません。使い終わった後は，必ずSコードをはずしてください。

録音レベルの調節

●録音レベルつまみで，レベルメーターの0dBのランプが時々つくように調節します。

ご自分でビデオを設置するには

この章は，ご自分でビデオを設置されるときにお読みください。
初めてビデオをお使いになるかたには，少し難しく感じられることがありますのでそのときは，販売店にご相談ください。

● アンテナ線の接続 46
（テレビ番組を録画するために必要です。）

● 映像・音声コード，Sコード，電源コードの接続 48
●映像・音声コードが接続できないときは 48
（ビデオ専用チャンネルの設定が必要です。）
●AVコントロール端子とAV-BUS端子について 50
（当社の対応テレビと組み合わせるときご覧ください。）

● 受信チャンネルの合わせかた
●受信チャンネルを合わせるには 51
（放送されているチャンネルだけを自動的に設定します。）

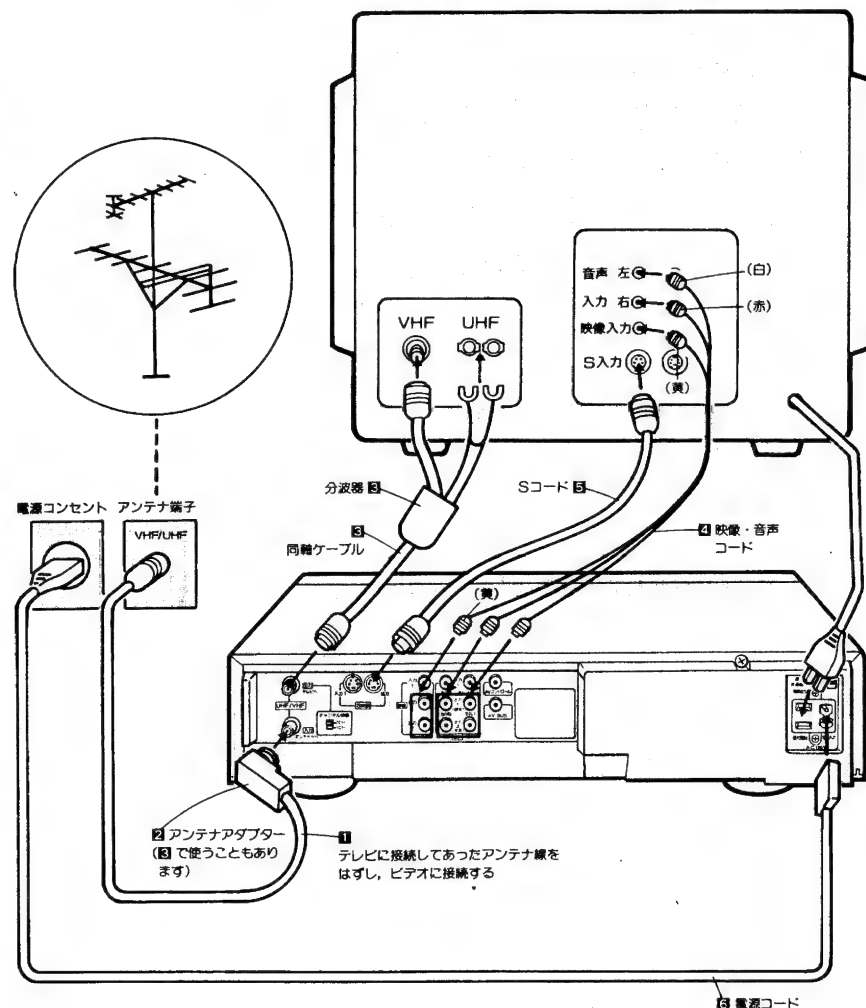
こんなときは

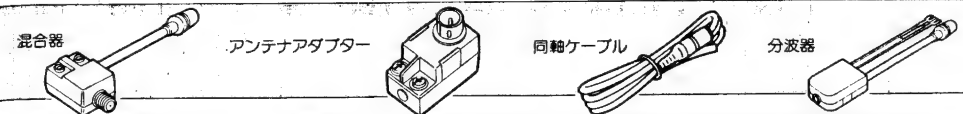
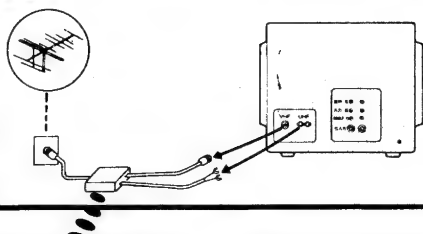
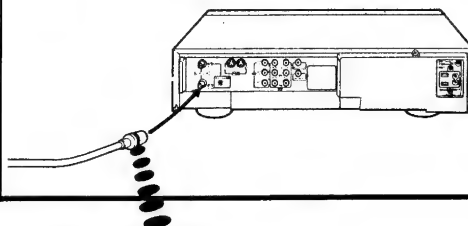
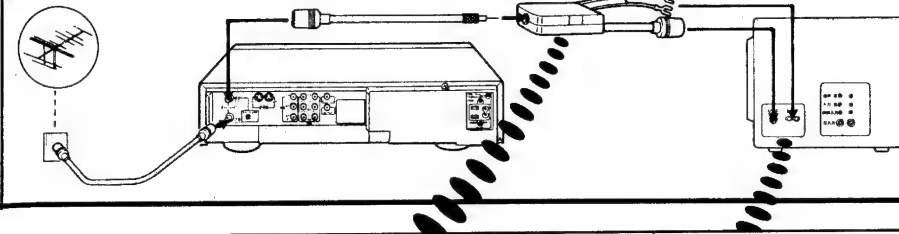
●微調節のしかた 52
●チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには 52
●放送のないチャンネルを飛びこすには 54

代表的な接続例

S端子付きテレビとの接続

●本機を最も良い画質・音質でお楽しみいただける接続です。
●アンテナ線 1 の種類が異なることがあります。46
●お持ちのテレビによっては 4 5 を接続しないことがあります。48

※図の 1 ～ 6 は，46 ～ 48 の説明手順に対応しています。

アンテナ線の接続

ここで使用する
付属品

混合器　アンテナアダプター　同軸ケーブル　分波器

アンテナ線の種類について

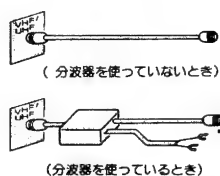
お手持ちのテレビやお住いの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は次のように違います。
どのような場合もまずアンテナ線はすべてテレビから取りはずします。

■アンテナ線の種類により，付属のアンテナアダプターや混合器が必要です。

■テレビのアンテナ端子の種類により付属のアンテナアダプターや分波器が必要です。
- 同軸ケーブルをアンテナアダプターまたは，分波器に取り付けるには加工が必要です。詳しくは 49

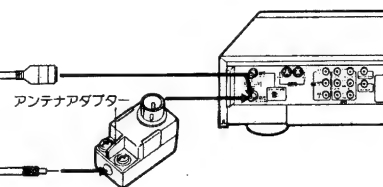
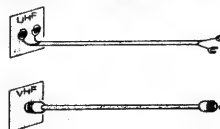
■テレビのVHFアンテナ端子の種類により，分波器の先端の加工が必要です。
（詳しくは 49 ）

● UHFとVHFアンテナ線が混合されている場合

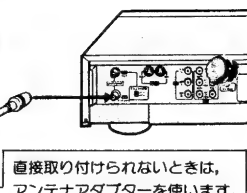
（分波器を使っていないとき）
（分波器を使っているとき）

分波器が付いている場合は取り外し，アンテナアダプターを取り付けます。

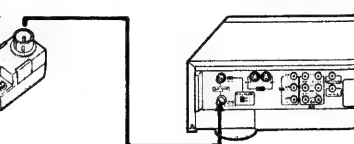
アンテナアダプター　同軸ケーブル　分波器

VHF/UHF ●アンテナ端子が1つのとき

UHF VHF ●アンテナ端子が2つのとき

● UHFとVHFアンテナ線の両方が接続されている場合

混合器

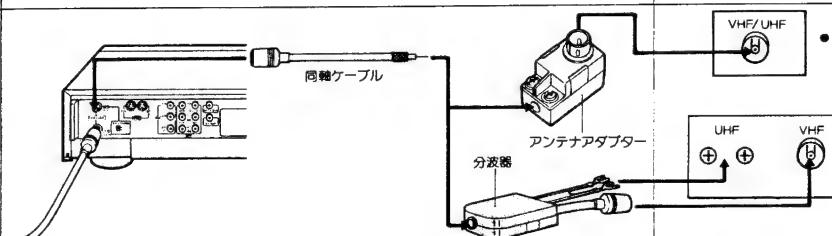
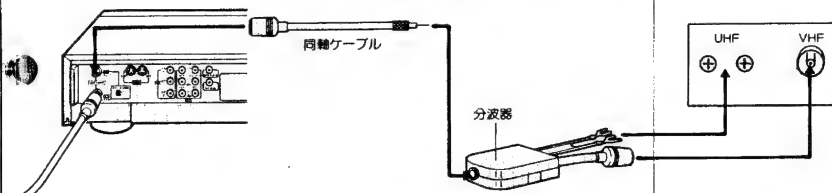
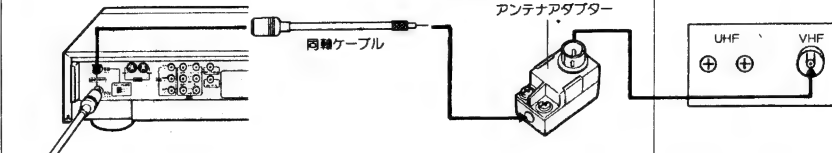
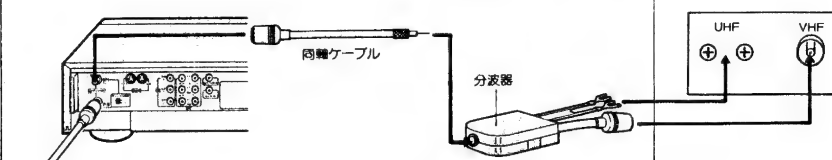
直接取り付けられないときは，アンテナアダプターを使います。

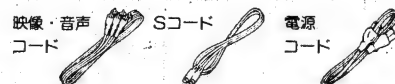
同軸ケーブル　分波器　UHF VHF

● UHFアンテナ線だけの場合

アンテナアダプター　同軸ケーブル　分波器　UHF VHF

● VHFアンテナ線だけの場合

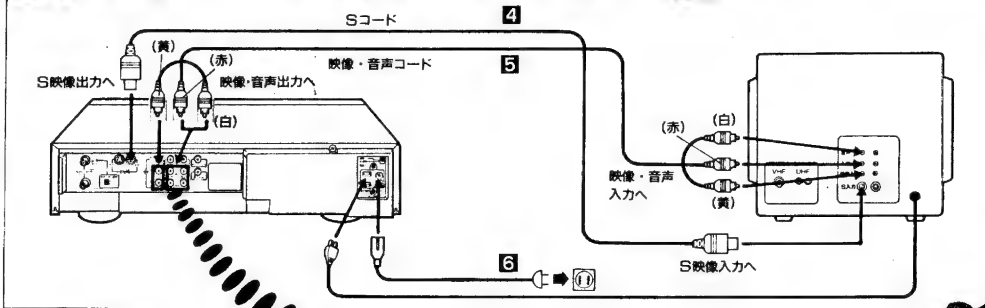
直接取り付けられないときは，アンテナアダプターを使います。

同軸ケーブル　アンテナアダプター　UHF VHF

つづく

映像・音声コード Sコード，電源コードの接続

ここで使用する付属品

4 映像・音声入力端子付きテレビのときは，映像・音声コードを接続する

5 S映像入力端子付きテレビのときは，更にSコードを接続する

6 電源コードを接続する

音声出力端子について

出力1：常に一定のレベルで出力されます。
出力2：出力を可変できます。前面の音量調節つまみで調節します。

映像・音声コードが接続できないときは

テレビに映像・音声入力端子が付いていないと，上の4，5の接続はできません。
この場合は，ビデオ専用チャンネルの設定を行い，ビデオを見るときは，テレビをこのビデオ専用チャンネルに合わせます。

1 テレビの電源を入れ，放送のないチャンネル（1または2）を選ぶ

●ビデオで選んだ番組を見たり，ビデオテープを再生するときは，テレビのチャンネルをいつも，このチャンネルに合わせます。（ビデオ専用チャンネル）

2 ビデオのチャンネル切換スイッチをテレビで選んだチャンネルに合わせる

●これでビデオで選んだ番組がテレビに出ます。

3 正しく設定できたか確認するには ビデオのチャンネルボタンでチャンネルを切換える

●選んだ番組がテレビに映ります。
●画像がきれいに映らないときは，46 47 の接続をもう一度確認してください。それでもきれいに映らないときは，下欄をご覧ください。

●接続が正しいのにきれいに映らないとき……
テレビの1または2チャンネルの調整がずれています。ビデオのチャンネルボタンで選んだ番組がきれいに映るようにテレビを調節します。（録画してあるテープがある場合は，テープを再生しきれいに映るようにテレビを調節します）
●テレビの調節方法は，テレビの取扱説明書をご覧ください。

音声多重放送をお楽しみになるには

●映像・音声コードでテレビと接続できないときは音声多重対応テレビまたはステレオアンプと接続してください。
●ビデオで選んだ放送や，テープ再生時にアンテナ出力端子から出力される音声はモノラル（音声モニターボタンで選んだ音声になります。）

テレビをふつうに使うには

●ビデオの電源を「切」にして，テレビを見たいチャンネルに合わせます。
●ビデオの電源が「入」の状態で使うときは，ビデオ／テレビ切換ボタンで「TV」を選んでいることを確認し，テレビを見たいチャンネルに合わせます。

アンテナ線の接続（つづき）

アンテナアダプターにフィーダー線を取り付けるには

アンテナアダプターに同軸ケーブルを取り付けるには

電波の弱い地域では

ブースター（別売品）を使用するとノイズが少なくなります。59

分波器に同軸ケーブルを取り付けるには

テレビのVHFアンテナ端子に分波器が直接取り付けられないとき

●VHFアンテナ端子が下図のときは，分波器の先端を加工します。

分波器の先端を加工します。

① 先端のプラグを切断する。

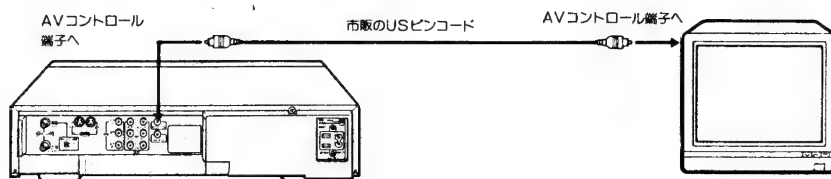
② 黒いビニール線にすじを入れ，切り取る。

③ 金属の網線を折り返す。

④ 白いビニール線に切り込みを入れ，切り取る。

AVコントロール端子とAV-BUS端子について

接続するテレビが当社製で，AVコントロール端子または，AV-BUS端子がついているときは，次の接続をすると，ビデオの操作でテレビをコントロールできます。

AVコントロール端子と接続したとき

●ビデオの操作で，テレビの入力切換を次のように操作できます。

●ビデオの電源を入れると（お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでいるとき 33）
●再生を始めると
●ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶと
➡ テレビの入力切換は自動的に「ビデオ」になります。

●ビデオの電源を切ると
●ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶと
➡ テレビの入力切換は自動的に「テレビ」になります。

AV-BUS端子を接続したとき

●ビデオの操作で，テレビの電源の「入/切」および入力切換を次のように操作できます。

●ビデオの電源を入れると（お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでいるとき 33）
●再生を始めると
●ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶと
➡ テレビの電源が自動的に入り，入力切換が「ビデオ」になります。

●ビデオの電源を切ると
●ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶと
➡ テレビの入力切換は自動的に「テレビ」になります。ただし，電源は切れません。

●ビデオのオフタイマーを合わせると
➡ テレビも合わせた時刻になると自動的に電源が切れます。

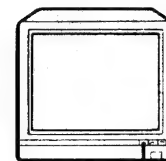
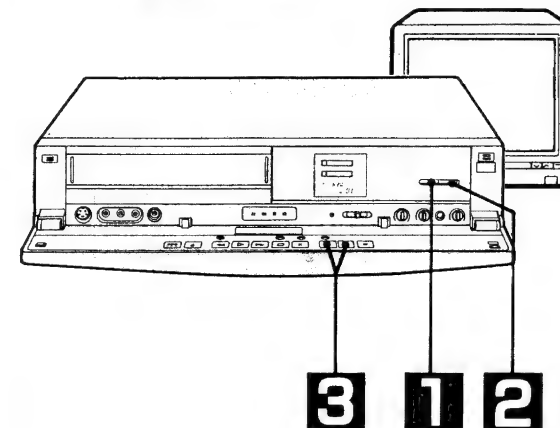
ご注意！
- 本機のAV-BUS端子を接続して使うときは，テレビの電源を「入」または「スタンバイ」でご使用ください。
- テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- AVコントロールまたはAV-BUS端子を接続したときは，テレビをビデオ専用チャンネル(1または2)にしてビデオの再生などを見ることはできません。テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。
- 録画するときは，テレビに映っている画像がビデオで選んだ番組かどうか，確認してから録画してください。

受信チャンネルの合わせかた

受信チャンネルを合わせるには

お住いの地域により，受信できるチャンネルは違います。(例えば東京と大阪，あるいは北海道と九州では受信できるチャンネルが違います。)そのために，お住いの地域に合わせた受信チャンネルの合わせが必要です。最初に46〜49ページの要領でアンテナ線とテレビをビデオに接続した後，次の操作をします。

準 備

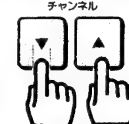
1. ビデオの電源を入れる。
2. テレビの電源を入れ，テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。
   - 映像・音声コードを接続していないときは，ビデオ専用チャンネル（1または2チャンネル）にする。

入力切換ボタン

終わったら

1 チャンネル設定ボタンを押す

（ビデオの表示窓）

2 オート設定ボタンを押す

- 受信しているチャンネルを自動的に記憶していきます。（設定には約1分かかります。）
- 記憶が終わると，一番数字の小さいチャンネルがビデオの表示窓に現われます。

3 チャンネルボタンを押して確認する

- 選んだチャンネルの画面がテレビに映ります。
- 画像がきれいに映らないときは，46〜49の接続をもう一度確認してください。

- 電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。このときはチャンネルを飛びこしてください。54
- チャンネルの数字がテレビ番組表の数字と合わないときは，52 をご覧ください。
- 工場出荷時は VHS放送の1〜12チャンネルが受信できるように調整してあります。

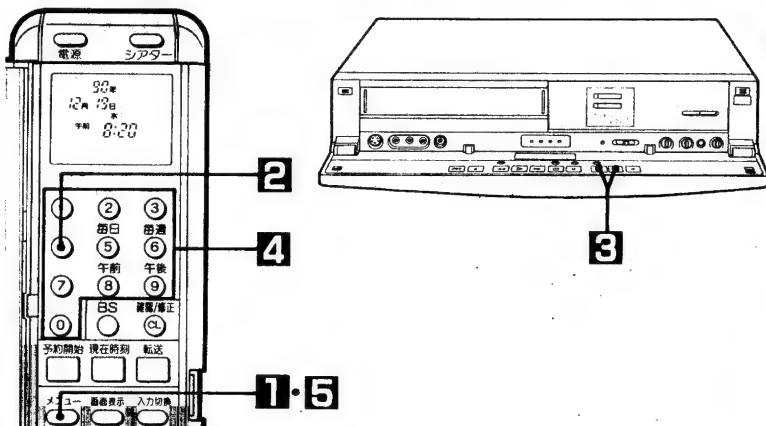
受信チャンネルの合わせかた（つづき）

微調節のしかた

受信した放送は自動的に最適な受信ができるようになっています。しかし，電波が弱かったり，妨害が入るチャンネルでは微調節をしたほうが映りがよくなることがあります。

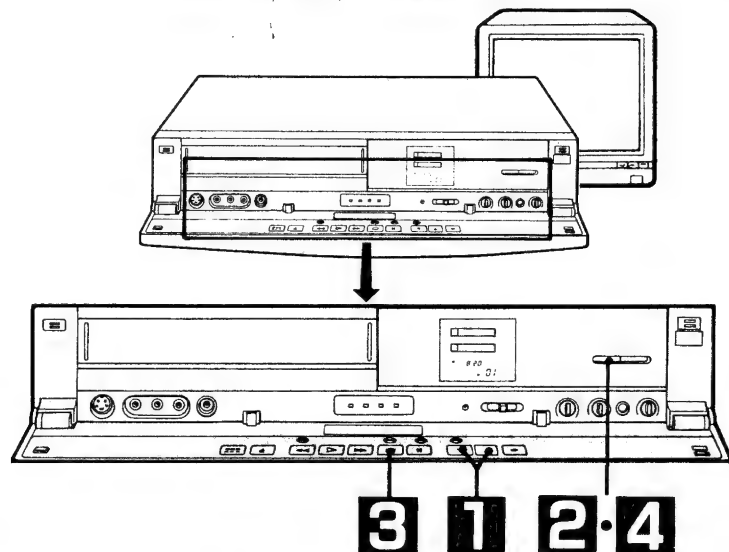
チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには

お住いの地域により，チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。
この場合，次のようにして数字を合わせておくと便利です。
（設定する前に，どのチャンネルをどの数字に設定するかを決めてメモしておくと便利です。）

例：チャンネル表示「CH60」を「CH04」に変えたいとき

受信チャンネルの合わせかた（つづき）

放送のないチャンネルを飛びこすには

チャンネル設定をすると，電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。
これらのチャンネルを飛びこしたいときは，次の操作をします。

終わったら

1 飛びこしたいチャンネルを選ぶ

チャンネル

●リモコンの⓪～⑨のボタンで選ぶこともできます。

〔ビデオの表示窓〕

8:20 SP 04

2 チャンネル設定ボタンを押す

チャンネル設定

04 CH SP TUNE 04

3 停止ボタンを押す

停止

音声が消え，選んだチャンネルの飛びこしができました。

4 チャンネル設定ボタンを押す

チャンネル設定

●ほかのチャンネルも飛びこしたいときはこの❶～❹の操作をくり返す。

●飛びこしたチャンネルはチャンネルボタン（▼または▲）では選べませんが，リモコンの⓪～⑨のボタンで選ぶことができます。
●飛びこしたチャンネルを元に戻すときは，手順❸のとき再生ボタンを押してください。

安全にお使いになるために

異常なときは

煙が出ている，変な音やにおいがするときは，すぐに電源プラグをコンセントから抜いて，販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら

すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき，危険ですのでアンテナ線には絶対に触れないでください。

カセット挿入口にご注意

お子様がカセットの挿入口に手を入れないようご注意ください。

異物は入れないで

カセット挿入口や通風孔などに金属や燃えやすいものが入ると危険です。感電や火災の原因になりますのでご注意ください。

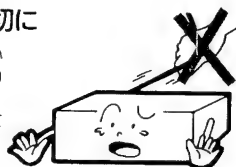
水は禁物です

ビデオの上に水の入った容器を置かないでください。万一，水などが中に入ったときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

カバーはあけないで

ビデオの内部には電圧の高い危険部分もあります。感電や故障の原因になりますので，絶対にあけないでください。

電源コードは大切に

電源コードに傷をつけないようにご注意ください。コンセントから抜くときは，必ずプラグを持って抜いてください。

長期間ご使用にならないときは

安全のため，必ず電源プラグを抜いてください。

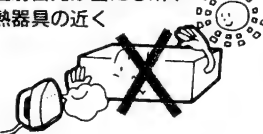
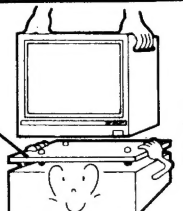
ビデオの置き場所にもご注意ください

風通しの悪い所
（通風孔をふさがないでください。）

不安定な所

油煙や湯気が当たる所やホコリの多いところ

磁気を発生する機器の近く

直射日光が当たる所や熱器具の近く

ラジオの近く

ビデオの近くでラジオなどを使用すると，ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

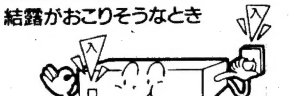
このようにしてお使いください

ビデオの上にテレビを載せるときは

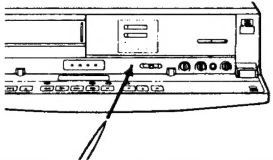
- ビデオには19形(約20kg)以上のテレビは載せないでください。
- ビデオの上に直接テレビを載せたときや，テレビの上に直接ビデオを載せると画面が乱れることがあります。このときは，ビデオスペーサーVR-VS18(別売品)をご使用ください。

使用上のご注意

お手入れについて	●ビデオをベンジン，シンナーなどでふいたりしますと，変質したり塗料がはげることがありますので，避けてください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は，その注意書に従ってください。
ビデオを使わないとき	●ビデオカセットをビデオから取出しておいてください。
衝撃を与えないでください	●持ち運ぶときは，家具にぶつけないようにご注意ください。
接続機器について	●ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
外国では使えません	●このビデオは日本国内用です。外国では放送方式，電源電圧が異なりますので使用できません。(This video tape recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

結露について(ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。)

このようなときに結露になります 	●寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。 ●暖房をはじめたばかりの部屋や，エアコンなど直接冷風のあたるところ。 ●夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度，温度の高い部屋に移したとき。 結露したまま使用するとテープやビデオヘッドを傷めます。
結露がおこりそうなとき 	●電源コードをコンセントに差し込み，電源スイッチを"入"にしておくと，結露が生じにくくなります。 ●結露が生じてから電源コードを差し込んでも，水滴を急激に蒸発させることはできません。約2時間お待ちください。

アンテナについて

アンテナを立てるとき	●妨害電波の影響を避けるため，自動車道路や電車の架線，送配電線，ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。 ●アンテナ線を不必要に長くしたり，束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。 ●金属の多い場所に配線することも避けてください。 ●VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると，雑音の少ない良好な画像が得られます。
アンテナの点検	●アンテナを定期的に点検，交換をすることが，いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早目に点検してください。
テレビのうつりが悪いときは	●ビデオを接続したとき，電波の弱い地域ではテレビのうつりが悪くなることがあります。このときは，ブースター(別売品)をご使用ください。

故障かな…というときは

○下記のことをお調べのうえ，それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず，お買い求めの販売店にご相談ください。なお，アフターサービスについては60ページをご覧ください。

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	ビデオの電源が入らない。	●電源コードがコンセントに接続されていない。	●電源コードの差込みプラグをコンセントに接続してください。	—
	リモコンで操作できない。	●乾電池が古くなっている。(約1年が目安です。 ●リモコン切換スイッチを正しく選んでいない。	●乾電池を交換してください。 ●リモコン切換スイッチを正しく合わせてください。	12 12
	電源は入るがビデオの操作ができない。	●各種安全装置が働いている。	●電源コードを一度コンセントから抜き，再度コンセントに入れた後，電源を入れてください。	—
テープが止まる	巻戻し，早送りができない。	●テープが最初または最後まで巻取られている。	●カセットを確認してください。	11
録画ができない	テレビ番組の録画ができない。	●アンテナ線の接続が正しくない。 ●受信チャンネルの調整がずれている。	●アンテナ線を正しく接続します。 ●受信チャンネルを正しく調整します。	46 51
	タイマー録画ができない。	●タイマーが正しくセットされていない。 ●時計が「－－：－－」になっている。 ●「つめ」の折れたカセットが入っている。	●タイマーを正しくセットしてください。 ●停電があったため，予約が消えました。再度，現在時刻を合わせたあとタイマーを合わせてください。 ●「穴」をセロハンテープでふさぎます。	26 29 28
	クイックタイマー録画ができない。	●「つめ」の折れたカセットが入っている。 ●時計が「－－：－－」になっている。	●「穴」をセロハンテープでふさぎます。 ●時計を合わせます。	25
	後面端子に接続した機器から録画できない。	●「L2」(外部入力2)を選んでいる。	●入力切換ボタンで「L1」(外部入力1)を選びます。	42
	前面端子に接続した機器から録画できない。	●「L1」(外部入力1)を選んでいる。	●入力切換ボタンで「L2」(外部入力2)を選びます。	42
	映像は記録されるが，音が正常に記録されない。	●録音レベルつまみが手ごたえのある中央になっていない。	●つまみを手ごたえのある中央に合わせます。	43
再生するとおかしい	再生の画面に帯状のノイズが出たり，画面がモヤモヤする。	●古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するときにおこることがあります。(トラッキング調整がずれています。)	●オートトラッキングまたは手動トラッキング調整で最良に映るよう調整してください。	22
	再生の画面がきれいにうつらない。	●テレビのチューニングが正しくない。 ●ビデオヘッドが汚れている。	●テレビのチューニングをしなおしてください。 ●ヘッドの清掃が必要です。ヘッドクリーニングボタンでヘッドを清掃してください。それでも映りが悪いときは，別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでもまだ映りが悪いときは，お買い求めの販売店にご相談ください。	— 2 58

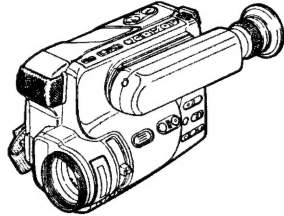
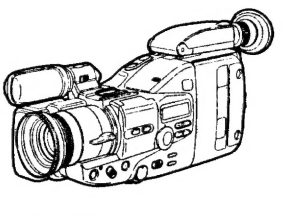
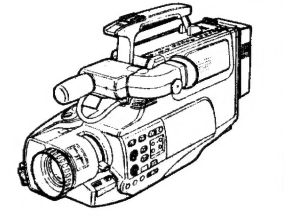
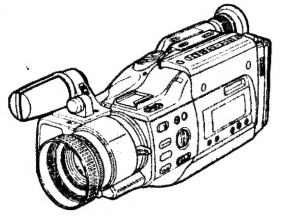
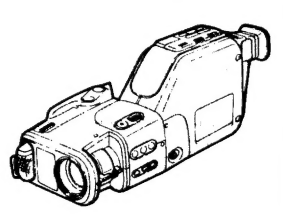
故障かな…というときは(つづき)

	症　状	原　因	処　置	参照ページ
再生するとおかしい	音が途切れる。	●音声ヘッドが汚れています。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは，お買い求めの販売店にご相談ください。	58
	日本語と外国語が同時に聞こえる。	●音声モニターボタンで「ステレオ」を選んでいる。	●音声モニターボタンを押して，聞きたい音を選びます。	21
	Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声モニターボタンで「ノーマル」サウンドを選んでいる。	●音声モニターボタンを押して，Hi-Fiサウンドを選びます。	21
	画面の輪郭がはっきりしない。	●映像切換スイッチが「ソフト」になっている。	●「ノーマル」または「エディット」にします。	39
その他	ダビング編集ができない。	●正しく接続されていない。 ●録画側ビデオが「外部入力」を選んでいない。	●接続を確認し，正しく接続してください。 ●録画側ビデオは「外部入力」を選びます。	42
	集中表示窓の表示が誤表示したり，操作ボタンを受付けない。	●内蔵のマイコンの誤動作のせいです。	●リセットスイッチをつまようじなどで押す。表示部がリセットされます。その後セットしなおしてください。	—

停止状態で約5分たつと多少音がしますが故障ではありません。
これは内部のテープ保護メカが動作する音です。

■ビデオを使っていると……

●ヘッドの清掃（テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になるときは）

ビデオを使っているとこんな症状が出ることがあります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。2ページの要領でヘッドクリーニングを行ってください。それでも汚れがとれないときは，別売りヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは，お買い求めの販売店にご相談ください。

★ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは，お使いになるクリーニングテープの説明書を良くお読みいただき，正しくご使用ください。

●ヘッドの摩耗

ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し，画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い求めの販売店にご相談ください。

別売品の紹介

8ミリビデオカメラ VM-E10	S-VHS-Cビデオカメラ VM-S83	S-VHSビデオカメラ VM-S8200
Hi8ビデオカメラ VM-H10	VHS-Cビデオカメラ VM-C1/VM-C2	ビデオカセットテープ
		S-VHS テープ ●ST-120SR-G ●ST-60SR-G ●ST-30SR-G VHS テープ ●T-120HF　●T-60HF ●T-160HG　●T-120HG
ビデオスペーサー	ヘッドクリーニングテープ	ブースター
VR-VS18	●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CL01 ●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210	●HD-WB2A（VHF・UHF・FM兼用） ●HVTR-W26A（VHF・UHF兼用） ●HVTR-U26A（UHF専用）
接続コード		
HPU-131AV（映像用） HPU-121（音声用）		

長年ご使用のビデオの点検をぜひ！

このようなことはありませんか	お願い
●電源コード，プラグが異常に熱い。 ●映像が乱れたり，色がきれいに出ない。 ●その他の異常や故障がある。	故障や，事故防止のためスイッチを切り，コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

アフターサービスと保証

保証書と保証期間について

- このビデオデッキには保証書がついています。
- 保証書は，販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので，記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 保証期間は，お買い上げの日から１年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので，ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので，そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては，販売店にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により有料修理いたします。

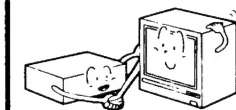
修理を依頼されるときは

- ビデオデッキが正常に動作しないときは，「故障かな…というときは」(57ページ)をご覧ください。それでも不具合なときは，お買い求めの販売店にご相談ください。

- アフターサービスを申し付けいただくときは，次のことをお知らせください。
- 形名　VT-S650
- 症状　できるだけ詳しくご説明ください。
- 住所・電話番号　付近の目印もつけ加えてください。

転居されるときは

- 転居で，お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は，前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介いたします。なお本機は50Hz(ヘルツ)，60Hz(ヘルツ)の切換えが自動的に行われますので，切換なしでどちらの地域でも使用できます。

美しい画面を見るための点検

- ビデオデッキは，カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記載したり，再生したりするため，非常に高い精度を必要とする機械です。
特に，ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は，お使いになる間に汚れたり，摩耗したりしてきます。性能を維持し，いつも美しい画面をご覧いただくためには，使用環境(温度・湿度・ホコリ）などに左右されますが，およそ1.000時間を目安に点検(清掃・注油・一部部品交換）されることをおすすめいたします。
詳しくは，お買い求めの販売店にご相談ください。

部品の保有期間　当社は，このビデオデッキの補修用性能部品を，製造打切後最低８年間保有しています。

- ビデオカメラ，ビデオ及びビデオカセットを使用中，万一これらの不具合により録画されなかったり，再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は，必ず事前に試し撮りし，正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機の「EP」モードで録画したテープは「SP」モード専用のVHSビデオで再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープはS-VHS方式のビデオにしか使えません。
- あなたがビデオで録画・録音したものは，個人として楽しむなどのほかは著作権法上，権利者に無断で使用できません。

S-VHSについて

S-VHSについて

本機は，従来のVHS方式に比べ，高解像度(水平解像度400本以上)高画質のS-VHS方式を採用しました。
より美しい，精彩な画像をお楽しみになれます。

使用するテープは

S-VHS テープと VHS テープの両方をご使用になれます。

- S-VHS テープはS-VHS方式またはVHS方式のどちらでも記録できます。
- VHS テープは自動的にVHS方式で記録されます。

VHS方式との互換性は

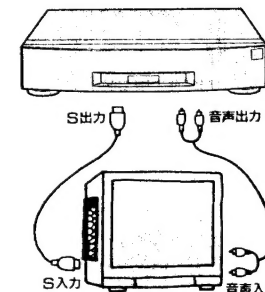
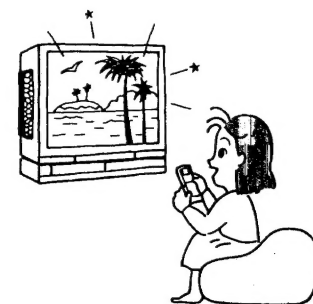
S-VHS方式で記録したテープは，S-VHS方式のビデオにしか使えません。

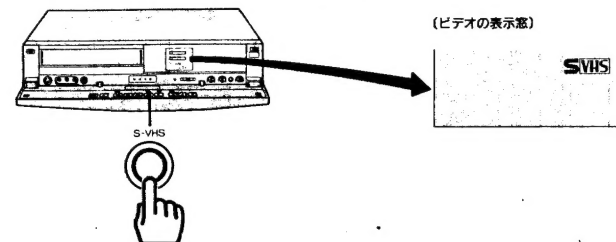
- S-VHS テープにVHS方式で記録したテープはVHS方式のビデオでも使うことができます。

接続するテレビは

S映像入力端子または映像/音声入力端子の付いたテレビを使うことを，おすすめします。

- S映像入力端子または映像/音声入力端子の付いていないテレビも使えますが，S-VHS方式の高解像度・高画質を十分にお楽しみになれません。
- S映像端子とは映像信号の輝度(Y)信号とカラー(C)信号を分離して入(出)力する端子です。従来の映像端子の信号に比べてより鮮明な画像をお楽しみいただけます。

※S映像端子の「S」はセパレート(SEPARATE)YCの「S」です。

S-VHS方式で記録するには

S-VHS テープを使用し，ビデオの表示窓に「 S-VHS 」表示がついていることを確認します。

- 「 S-VHS 」表示がついていないときは，S-VHSボタンを押すと表示がつきます。
- S-VHS テープにVHS方式で記録するときは，「 S-VHS 」表示を消してください。
- S-VHSボタンを押すたびに「 S-VHS 」表示がついたり，消えたりします。
- 再生するときは，自動的に記録方式を判別し再生します。

専門用語の解説

音声モニター 21

二ヵ国語放送などを再生するときに便利な機能です。
音声モニターボタンを押すたびに，日本語だけ，外国語だけ，日本語と外国語といった具合に音声が切り換わります。録画中に切り換えても，録音内容は変わりません。（日本語・外国語の両方が録音されます。）

トラッキング調節 22

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出ることがあります。これは，録画された部分をヘッドが正確になぞってないためにおこります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。デジタルオートトラッキングは，この調節を自動化したものです。

入力切換 42

他の機器から録画・録音するときに必要な切換です。
ビデオは通常，テレビ番組を録画できるようになっています。入力切換ボタンで「Ｌ１」または「Ｌ２」を選ぶと，映像入力端子，音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

Hi-Fiサウンド

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。
ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定のヘッドで録音/再生します。
一方，Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため，テープとの相対速度が非常に早くなり，よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド，回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

ビデオ専用チャンネル 48

１または２いずれかのチャンネルです。
映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは，テレビを１または２チャンネルのうち放送のないチャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが，ビデオ専用チャンネルです。
ビデオ後面にあるチャンネル切換スイッチも切り換えます。

ダビング 42

２台のビデオを接続して，テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

ビデオ/テレビ切換 18

ビデオのVHFアンテナ出力の切換です。
「ビデオ」にしておくと，映像と音声が１または２チャンネルの放送（ビデオ専用チャンネル）としてテレビに供給されます。
ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており，テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切換ボタンで切り換えます。

VISS（ビス） 36

VHS Index Search System（ブイエッチエス インデックス サーチ システム）の略で，テープに記録された頭出し用の信号（VISS信号）を使って頭出しをする方式です。
VISS信号は，録画時に自動記録されます。

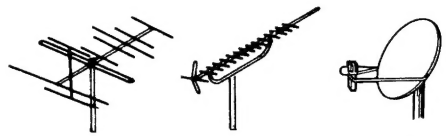
フライングイレーズヘッド

録画ずみの部分に続けて録画するとき，つなぎ目部分をきれいにするため，通常の消去ヘッド以外に回転消去ヘッドを取付けております。回転しながら動作することから，フライングイレーズヘッドと呼ばれております。

ブースター（電波増幅器） 59

名前の通り電波を増幅します。
電波の弱い地域の場合，ビデオを接続すると，テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより，今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど，映りがよくなります。

VHFとUHF放送 46

テレビ放送にはVHFとUHF放送があります。
（最近はBS（衛星）放送もあります。）VHF放送は１～12チャンネル，UHF放送は13～62チャンネル，BS放送はBS１～BS15チャンネルでご覧になれます。
それぞれの放送に応じたアンテナが必要です。アンテナの形を見ると，どの放送を受けているか，よく分ります。

VHFアンテナ

UHFアンテナ

BSアンテナ

※一部の地域（関東地域など）ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

録画モード（EP/SP） 16

ビデオには，「標準」と「３倍」の録画モードがあり，録画時に切り換えられます。
SP（標準）：テープスピードが標準の速さです。
画質を重視するときには「SP」で録画することをおすすめします。
EP（３倍）：テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「SP」に比べて３倍長く録画できます。
再生のときは，録画時のスピードに自動的に切り換わります。

索　引